

岡山市中区区づくり推進事業
令和5年度事業報告書

	事業名	ページ
広域交流部門	第26回百間川ふれあいフェスティバル	1~8
広域交流部門	たかしま音楽祭・2023	9~17
身近な交流部門	操明学区「桜祭り」	18~26
身近な交流部門	三世代交流ふれ合いフェスタうの2023	27~35
身近な交流部門	財田ふれあい夏祭り	36~45
身近な交流部門	第19回富山文化まつり	46~54
身近な交流部門	平井まつり“2023”	55~62
身近な交流部門	三熟学区ふれあい事業 (夏・冬の四世代ふれあいフェスティバル)	63~71
身近な交流部門	第5回高島ふれあいとんどまつり	72~79
地域活動部門	地域づくり会議の運営と事業展開	80~87
地域活動部門	地域防災力の向上	88~96
地域活動部門	とみやま助け合い隊	97~104
地域活動部門	旭竜助け合い隊推進事業	105~110

岡山市区づくり推進事業報告書

(広域交流部門)

令和 5 年 12 月 25 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ ヒヤクケンガワフレアイフェスティバル ジョウコウインカイ
 団体名 百間川ふれあいフェスティバル実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ ジョウコウインチョウ ニシザキ カズヨシ
 代表者役職・氏名 実行委員長 西崎 和良

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第26回百間川ふれあいフェスティバル	
事業実施区域 (小学校区)	宇野・旭竜・高島・幡多・財田・竜之口・三勲学区	
① 地域の特色	※事業申込書に記入した内容について記入してください。 ★歴史的経過がある「百間川」をテーマとしています。 地域住民との交流、百間川とのふれあい、歴史的役割の認識、地域防災意識の向上、治水・利水・環境等河川管理の重要性等を来場者に知ってもらいます。 地域らしさをアピールするために、このフェスティバルを通じて、百間川の素晴らしさ、役割や重要性をさらに深め、「百間川」が岡山市民の身近な憩いの場・地域連帯の場・行政と民間との協働の場とすることによって地域性を向上させていきたい。	
② 事業の目的・ 成果	該当事業項目に○を(複数可)	ア 防犯 <input checked="" type="radio"/> 防災 <input checked="" type="radio"/> 環境 エ 支え合い <input checked="" type="radio"/> 健康 <input checked="" type="radio"/> 自然等 キ 特産物等 <input checked="" type="radio"/> 人・歴史・文化等 ケ その他
※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。		
百間川ふれあいフェスティバルを通じて地域との連帯感を醸成するだけでなく地域の発展と自然環境に対する認識、百間川の歴史・役割などを市民の皆さんに知っていただくことにより河川管理の大切さ、河川が果たす治水・利水についての理解を深めると同時に環境美化運動・ゴミ減量化運動など行政と地域が協働して、まちづくりに取り組まなければならない姿を啓発し市民づくりに貢献したいと考えています。過去22回にわたり実施した「百間川ふれあいフェスティバル」は、百間川の歴史的な経緯・役割などの理解を深めること及び地域との連帯感・一体感を醸成するだけでなく、環境保全・地域の活性化による地域の発展・青少年健全育成等初期の目的を果たせつつあるといえます。		

③ 事業の内容

○開催日時： 令和5年4月23日(日曜日) 9時～15時

○開催場所： 岡山市中区東川原地先 百間川ワイワイ広場

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

第26回目は、次のテーマで実施

百間川の自然と歴史と役割を知ろう、百間川の自然と環境を守ろう

育もう豊かな心を、楽しもう河川広場で、防災意識の向上に努めよう

ごみの問題ですが、ポートボール・グランドゴルフ・軟式野球・ソフトボール大会終了後には参加選手全員で使用した会場ならびにその周りを清掃した。環境問題の啓発にもなります。ボランティアスタッフとして近隣の岡山市立操山中学校の生徒を募集。その仕事内容としては、行政ブース等のお手伝いやカヌー体験や水の広場清掃などを通じてボランティアをしながら水辺に触れて環境問題などについて体験してもらった。青少年健全育成に役立ちます。

1. 百間川の自然と歴史と役割を知ろう

- (1) 国土交通省岡山河川事務所(歴史と役割) パネル展示等
- (2) 岡山淡水魚研究会(自然) 百間川に生息している魚や虫を水槽展示
- (3) 水辺教室(自然) 川に入る体験を通じて百間川の環境を知る
- (4) カヌー体験 川に入る体験を通じて百間川の環境を知る

2. 百間川の自然と環境を守ろう

- (1) 岡山市環境保全課(環境) 環境問題に関する啓発パネル展示
- (2) 水辺教室(自然・環境) 川に入る体験を通じて自然を守る
- (3) 高齢者グランドゴルフ・学童ポートボールなどの大会参加者で会場とその周りを清掃

3. 育もう豊かな心を

- (1) 岡山市立操山中学校ボランティアスタッフを募集し事業などの手伝いをしてもらうとともに実際水辺の体験をしてもらった。
- (2) 環太平洋大学のキッズダンスチームにも踊りを披露してもらうとともに水辺の体験をしてもらった。

4. 楽しもう河川広場で

- (1) 宇野小学校児童による吹奏楽演奏(宇野学区)
- (2) 操山中学校生徒による吹奏楽演奏(宇野、三敷学区)
- (3) チャリーディングの披露(IPU環太平洋大学)
- (4) 太鼓の演奏(宇野学区) 烏城さい鼓遊会
- (5) 学童ポートボール大会(宇野、旭竜、幡多学区)
- (6) グランドゴルフ大会 競技終了後、希望者に対し、競技を指導(宇野、旭竜、高島、幡多、竜之口、財田、三敷学区)
- (7) 少年ソフトボール大会(宇野、旭竜、高島学区)
- (8) 少年軟式野球大会(宇野、旭竜、高島学区)
- (9) ファジアーノ少年サッカー教室開催(令和5年8月5日)

その他の取組

- (1) 自衛隊岡山地方協力本部
- (2) 岡山市消防局
- (3) 岡山市都市整備局公園緑地部緑化推進課
- (4) 岡山市公園協会

○感染防止対策の内容

※実施した感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

ポスター、チラシ、パンフレット、場内放送等による注意喚起をした。

マスク等の着用は今年3月中頃から個人の主体的な選択を尊重する、又5月初めにコロナは5類に移行したため検温器を準備したが使う人は少なかった。汗拭き紙は各所においた。

運営スタッフ人数	90 人	来場者数	5000 人
出演者人数	183人	天 候	曇り晴れ

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

今回は、組織に若いと言っても50台ですが入ってもらいその意見を取り入れたキッチンカーでの販売を企画した所大変評判が良かった。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

時流にあったまた予算のかからない新しい企画を考えて、また収入の上がりにくい時節あまり皆に負担のかからないような運営体制を構築し、かつマンネリ化しないように今後の組織も含めて運営していきたい。抑えられる予算は減らしテーマにあった部分は充実していきたい。しかし3年間中止してた為少し目先を変えてチラシにカラー印刷を取り入れるなどした。カヌー体験は、カラーチラシの影響が予定のレッスンを増やして申込者がすべて体験できるようにした。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

(令和4年3月24日開催の審査会事前審査に対する取り組み)

★飲食を伴うものについては、コロナウイルス対策に十分配慮して実施してください。

十分注意をして開催できました。

★メンバーが高齢化しているようですが、若手(30代、40代、学生など)が参画する仕組みを作らなければ変わりばえないものとなるのではないのでしょうか。企画、内容は素晴らしいと思います。

実行委員会のメンバーも少し年を重ねてきているので急にはできませんが実行委員会のメンバーの若返りも進めていきたい。

★実績が25年と素晴らしい活動です。中区の7学区が連携しての区づくり事業を今後も継続してほしいです。

できる限り継続する予定です。そのためには若返りが必要だと痛感しています。

★大会参加者が清掃することは当然ですが、百間川の地域住民で百間川近辺のゴミ回収を実施されるともっと良くなるのではないのでしょうか。

すでに東川原町内会をはじめとしたボランティア団体等が百間川やその近辺の清掃をしています。

★川を軸とする広域連携活動は素晴らしいと思います。SDGsの切り口も入れると子供たちには身近な学びになるように思います。

今回はカヌー教室の水と触れ合うような事業を開催して子供たちに環境問題の大切さ等を身近にあるもので考えるような場を提供できた。

★百間川フェスティバルを通じて地域の発展と自然環境に対する認識、百間川の歴史的な経緯などの理解を深めるためにも是非継続していただきたいと思います。

今後ともこの活動を通じて地域の発展と自然環境に対する認識、百間川」の歴史的な経緯などの理解を深めてもらえるよう継続していきたい。

★百間川周辺住民の交流の場として今後も継続されることを期待します。

次回は来場者の住所(小学校区迄)等の聞き取りをしてみようかと思う。

★感染防止対策(屋内・屋外)の内容ですが、参加メンバーの記録とは役員だけなのでしょうか。一般参加者も記録するのでしょうか。参加人数の制約とは具体的にどのようにされるのでしょうか。

感染症対策に関して、屋内の場合には完全な対策がとれるが屋外の場合には3方向から入ってくるので難しい。関係者、経験者などの意見を取り入れて又会場全体のレイアウト等を見直すなどして必要であれば対策をしていきたいと思います。

★コロナによって中断されてしまいましたが、継承すべき事が失われないようにお願いします。

できる限り皆さんの意見を取り入れていいイベントになるようにしていきたい。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

Ⅰ できた

Ⅱ おおむねできた

Ⅲ 一部できなかつた

Ⅳ まったくできなかつた

Ⅴ 改善意見がなかつた

⑤ 今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

改善が必要な事業や課題

- ・実行委員会メンバーの若返り
- ・開催案内などの見直し(出演募集、出店募集、イベント募集等)
- ・対外的な告知方法の見直し
- ・協賛広告募集の見直し

本事業の将来像

もっと広げていくのかもっと絞っていくのか実行委員会で検討していきたい。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

① チラシを作成配布、② HPに掲載、③ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、Ⅴ その他（広域7小学校区各町内会に回覧がいきわたるようにチラシを配布）

内 容

チラシ作成(依頼分なども含む)

出演募集枚、出店募集枚、協賛金募集枚、開催チラシ枚、ポスター枚、カヌー体験枚、水辺の教室枚、ボランティア募枚

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
令和4年12月7日	準備会議にて第26回を開催することに決定をする。
令和5年1月11日	企画会議をする。打合せにはコロナ対策を充実することを確認する。 運営組織と役割とスケジュールの確認をする。 これ以降コロナに十分注意をして個別の部会ごとに会合をし必要に応じて全体の打合せをすることに決定する。
2月15日	全体打合せをして進捗状況の確認をする。
3月22日	全体会議をして漏れがないか確認をする。
4月5日	全体会議をして最終確認をする。
4月12日	会場確認をする。
4月21日	会場内区角割り(ライン引き)をする
4月22日	会場準備をする。
4月23日	百間川ふれあいフェスティバル開催、終了後会場内清掃
4月26日	フェスティバルお礼状の郵送
5月11日	百間川ふれあいフェスティバルの反省会開催
7月5日	絵画展の中止を決定する
8月5日	ファジアーノサッカー教室を開催
8月19日	ファジアーノサッカー教室の反省会開催

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加予定団体等	事業運営のスタッフ人数
宇野学区連合町内会	15
旭竜学区連合町内会	2
高島学区連合町内会	3
幡多学区連合町内会	3
財田学区連合町内会	2
竜之口学区連合町内会	4
三敷学区連合町内会	2
岡山市消防団宇野分団	10
宇野学区体育協会	15
宇野学区婦人会	2
宇野学区交通安全対策協議会	2
宇野学区子ども会育成連絡協議会	6
宇野学区交通安全母の会	2
宇野地区愛育委員会	2
宇野学区老人クラブ連合会	2
宇野学区コミュニティー協議会	4
岡山せとうちライオンズクラブ	14
計	17団体 90人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での 役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	大会会長				宇野学区連合町内会会長
2	副会長				旭竜学区連合町内会会長
3	〃				高島学区連合町内会会長
4	〃				幡多学区連合町内会会長
5	〃				財田学区連合町内会会長
6	〃				竜之口学区連合町内会会長
7	〃				三敷学区連合町内会長
8	〃				岡山市消防団宇野分団分団長
9	〃				宇野学区交通安全対策協議会会長
10	〃				宇野学区スポーツ協会会長
11	〃				宇野学区婦人会会長
12	〃				宇野学区交通安全母の会会長
13	〃				宇野学区子ども会育成連絡協議会会長
14	〃				宇野地区愛育委員会会長
15	〃				宇野学区老人クラブ連合会会長
16	〃				宇野小学校 PTA 会長
17	〃				岡山せとうちライオンズクラブ
18	実行委員長				宇野学区
19	副実行委員長				宇野学区
20	総務部会				岡山せとうちライオンズクラブ
21	〃				宇野学区
22	〃				幡多学区
23	企画部会				宇野学区
24	〃				高島学区
25	〃				幡多学区
26	〃				三敷学区
27	〃				幡多学区
28	〃				三敷学区
29	会場・出店部会				幡多学区
30	〃				三敷学区
31	〃				幡多学区
32	〃				旭竜学区
33	〃				幡多学区
34	〃				高島学区
35					
36					
37					
38					

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	1,010,000	990,000	
協賛金	640,000	0	協賛金
負担金	350,000	389,800	店舗出店料
広告料		713,900	広告代
寄附金、他収入		24,621	寄附金その他
収入合計	2,000,000	2,118,321	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	150,000	100,617	コピー用紙、文具、インク、封筒代等
②食糧費	150,000	177,100	事業当日の役員の弁当、会議用飲料等
③印刷製本費	350,000	381,128	パンフレット印刷、チラシ印刷、各デザイン料等
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	150,000	102,081	切手代、送料、電話代等
⑦広告料	30,000		
⑧手数料	30,000	275	ホームページ更新手数料等
⑨使用料	700,000	787,881	設備、施設、レンタル代等
⑩原材料費	30,000	17,250	展示パネル代等
⑪委託料	300,000	454,500	カヌー教室、会場交通整理等委託料等
⑫工事請負費			
⑬報償費	50,000	73,979	出演料等
⑭保険料	40,000	23,510	イベント傷害保険
小計(①)	1,980,000	2,118,321	
⑮新型コロナウイルス 感染症防止対策経費	20,000	0	非接触型体温計、除菌アルコール
小計(②)	20,000	0	
支出合計(①+②)	2,000,000	2,118,321	

○ 内容欄へは使用用途等を記入してください。

○ 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書 (広域交流部門)

令和5年10月20日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ 団体名 : たかしまおんがくさいじのこういんかい
高島音楽祭実行委員会

所在地 :

連絡先 :

フリガナ 代表者氏名 : 会長 鈴木正二

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	たかしま音楽祭・2023	
事業実施区域 (小学校区)	高島学区・旭竜学区	
① 地域の特色	<p>(1) 豊かな自然と歴史のある地域 高島・旭竜学区は、周辺部に旭川、百間川、北に竜の口山を擁し、豊かな自然環境に恵まれ、多くの歴史的遺産も有し、文化の香り高い地域である。特に当地域は百間川の源流部にあたり、そこには「せせらぎ広場」という広場があり、4月初めには、広場沿いに「金平桜」が咲き誇り、年間を通して、保幼小の子どもたちが、遊びや学習のために訪れ、また多くの市民の憩いの場となっている。</p> <p>(2) 福祉のまち旭竜と躍動するまち高島 旭竜学区は、高齢化率が高く、このため福祉事業に熱心で「福祉のまち旭竜」と言われている。他方、高島学区は宅地化が進展し、若い人が多く移り住み、躍動するまちとして、小学校、中学校を中心として、音楽、スポーツ活動が盛んである。</p>	
② 事業の目的・成果	該当事業項目に○を(複数可)	ア 防犯 イ 防災 ウ 環境 エ 支え合い オ 健康 カ 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史 ク 文化等 ケ その他
<p>(1) 小さな子供からお年寄りまで幅広く、野外で春の日差しを浴びながら、音楽を通じて親睦・交流を図ることができた。</p> <p>(2) 地域の高齢者に対して、ひと時のくつろぎの場を提供することができた。</p> <p>(3) 小学生・中学生の時から、地域のボランティア活動に触れながら、豊かな心を育て、やがては次世代の実施メンバーへと育てること目的としたが、今回中学生ボランティアが活躍してくれ、若い芽が育ちつつあると実感した。</p> <p>(4) 音楽資源をとおした地域文化の創造 百間川敷地で開催するのは、今回で7回目であり、毎年度5月末恒例の行事として、地域文化として定着しつつある。</p>		

③ 事業の内容

○開催日時：2023年 5月27日(土曜日)11時15分～16時10分

雨天時：(小雨決行、中止、延期： 月 日 曜日 時 分 ～ 時 分)

○開催場所：百間川せせらぎ広場(岡山市中区今在家地先<岡山市中消防署南側>)

○事業実施内容

◇ 楽器の演奏

- (1) 岡山市消防音楽隊の演奏
- (2) ギター演奏・弾き語り(流しのSIVAちゃん)
- (3) バンド演奏(フォーメーション)
- (4) うらじゃ演舞(俄嘉屋)
- (5) 和太鼓演奏(和太鼓・笑)
- (6) 鍵盤ハーモニカ演奏(高島公民館講座クラブ)
- (7) 岡山市立高島中学校吹奏楽部
- (8) 私立就実高等学校吹奏楽部の演奏

◇ 出店

コロナ以前の状態に戻して、7テント出店した。

焼きそば、飲み物、ポップコーン、クレープ、柏餅、赤飯、山菜おこわを販売し、ヨーヨー釣り、バルンアート、廃材遊びなども実施した。

○ 感染防止対策の内容

- (1) 5月8日(コロナが感染症の第5類に指定された。)以後の開催であったので、マスクの着用は任意とした。
- (2) 観客席は、1m間隔にパイプイスを150脚並べ、密にならないようにした。

運営スタッフ人数	83人	来場者数	1,500人
出演者数	247人	天候	晴れ

④事業の実施

○ 企画などの工夫、事業のみなおし

- (1) 百間川のパネル展実施・・・1つのブースを設けて、来場者に百間川の歴史と現状を知ってもらった。パネルは岡山河川事務所から借用した。
- (2) 楽器の保護対策・・・ステージの後背部がグラウンドなので、楽器が砂ぼこりをかぶる恐れがある。このため、楽器が傷まないように、ステージの3方を幕で覆った。床にはブルーシートを張った。
- (3) 中学生ボランティアの導入・・・高島公民館を介して、中学生ボランティア10名に来てもらい、交通誘導、ごみ当番、ステージの補助役等を担当してもらった。最後の片づけまで手伝ってくれた。
- (4) 予算の工夫・・・少しでも減額できるように努めた。来年度は印刷製本費を節減しようと考えている。
- (5) 救急班として、看護師1名に控えてもらった。暑かったが、おかげで、熱中症の患者は発生しなかった。

○ 令和5年度岡山市区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■ 事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）

(1) 交流部門・共通の意見

- ① イベント会場でごみを出さないように配慮していただきたいです。例えば、入り口で来場者に持ち帰り用ごみ袋を渡す等の取り組みを行うことで、スタッフも助かるのではないかと思います。
- ② 飲食を伴う場合、食中毒を補償の対象とした保険の加入を検討してはどうでしょうか。
- ③ 使用料について、業者からレンタルしているところは金額が突出しています。机・椅子等は各学区内の町内から持ち寄れば、学区内のコミュニケーションも取れ、経費も抑えられると思います。

(2) 広域交流部門・たかしま音楽祭・2023

- ① コロナ対策でも、現状維持ではなく変化している点が良いと思いました。
- ② 小・中学生のボランティアを通じた次世代実施メンバーの発掘は非常に効果的であると感じました。地域への愛着も生まれてよいと思います。
- ③ 障害者専任学生ボランティアは初めて聞きました。非常によいと思います。可能であれば、より人数を増やして良いのではと思います。
- ④ 組織団体のみでの演奏になっているため、楽器に触れる体験等、一般の参画・参加イベントを導入してほしいです。
- ⑤ スタッフの弁当代と委託料の予算が増加していますが、これまでと違うことをするのでしょうか。
- ⑥ 「地域文化の創造」とは具体的にどのようなイメージなのか少し分かりにくいです。

○ 上記助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等（右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。）

■ 助言・意見に対する回答

(1) 全事業共通

- ／① ごみ対策として、現場に「可燃ごみ」「空き缶」「空きびん」「ペットボトル」用の4つの大きな、ごみ箱を用意しました。この方が、ごみがきちんと分別したかたちで処理でき、大会が終わったとき、会場にごみはまったく落ちていませんでした。ごみ袋を配るのは、ごみを出すかどうか分からない人にも配ることになり、資源の無駄遣いとなります。
- ／② ご意見に基づき、食中毒保険に入りました。
- ／③ テント・机等は、町内会等のものも利用しています。テントのリース代を少なくするのは、難しいところがありますので、来年度の計画ではポスターやチラシを自前でデザインする等の工夫をして、予算を減額しようと考えています。

(2) 高島音楽祭・2023

- ／① 5月8日（コロナが感染症の第5類に指定された。）以後の開催であったので、マスクの着用は任意とし、イスの間の空間は1m空けました。
- ／② 中学生のボランティアが、よく活躍してくれました。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

Ⅰ できた

Ⅱ **○** おおむねできた

Ⅲ 一部できなかった

Ⅳ まったくできなかった

Ⅴ 改善意見がなかった。

- ／③ 障害者専任学生ボランティアは、学生さん急がしくて来てもらうことはできませんでした。障害者の人は、家族か施設の人が付き添っておられたので、スタッフで対応できました。
- ／④ 高価な楽器に会場の人が触れるのは難しいところがありますが、太鼓演奏では可能なので、来場者や中学生ボランティアに太鼓をたたいてもらいました。演奏と合わせたダンスにも参加してもらいました。
- ／⑤ 令和4年度の弁当代が高かったのは、福祉に貢献できればと考えて、障害者が働いている店から取り寄せたため、今年度はそれをやめて、出店者から焼きそばを買い、予算の減額に努めました。
- ／⑥ 文化とは、人間により創造されたもの、人工物であり、社会において後天的に学ぶべきもの全般のことをいうそうです。文化の種類としては、言語、宗教、音楽、料理、絵画、哲学、文学ファッション、法律などがあります。
音楽も文化の1つであるので、音楽祭を地域行事として定着させれば、それは「地域文化」になると考えました。

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

- ／(1) 雨が降っても会場を変更できないが、雨が降った場合の演目、会場対策を十分検討したい。

⑥ 事業の情報公開

該当するもの全てに○を付けてください。

- ①チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、③市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、
- ⑤その他(高島公民館だよりに掲載)

(内容)

- ／・ チラシを16,000枚作成し、各戸に配布した。
- ／・ ポスターを250枚作成し、事業所、学校、施設等に配布した。
- ／・ 山陽新聞に掲載（令和5年5月25日号「会と催」欄）
- ／・ オニビジョンで放送（令和5年6月17日、18日）
- ／・ 岡山市連合町内会会報に掲載（令和5年9月発行、第41号）

⑦ 事業実施経過（企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください。）

年 月 日	内 容
令和4年11月26日	第1回実行委員会・・・2023年度音楽祭の計画案、区づくり推進事業申込書の協議をした（高島公民館）。
令和5年 2月11日	執行部役員会・・・2月25日の審査会への出席、出演者・スケジュールの確認、会場レイアウト、出店者、協賛金、反省会について協議（旭竜コミュニティーハウス）
令和5年 2月27日	執行部役員・・・協賛金集金活動開始（3月中に終わることを目標としたが、実際は4月6日までかかった。）
令和5年 4月23日	執行部役員と有志・・・ポスターとチラシの発送作業（高島公民館）
令和5年 5月14日	第2回実行委員会・・・開催当日の準備、作業担当者等について協議し、確認
令和5年 5月27日	「高島音楽祭2023」を開催（百間川河川敷）
令和5年 6月4日	執行部役員会・・・音楽祭開催結果の反省点を協議（高島公民館）
令和5年9月24日	第3回実行委員会・・・下記について協議 ① 区づくり推進事業実績報告について ② 令和5年度事業報告及び決算報告について ③ 今年度事業の反省点について ④ その他

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等		参加人数(人)
1	国府市場東町町内会	3
2	祇園上町内会	2
3	祇園下町内会	6
4	中の里町内会	1
5	段原町内会	5
6	山浦町内会	1
7	中井町内会	1
8	祇園山手町内会	1
9	今在家町内会	5
10	藤の里町内会	1
11	国府市場町内会	2
12	国府市場出村町内会	3
13	高島学区民生委員・児童委員協議会	3
14	祇園下子ども会	5
15	高島学区体育協会	2
16	高島公民館	1
17	中島町内会	10
18	八幡町内会	5
19	高島二丁目西町内会	1
20	高島二丁目東町内会	1
21	八幡東町町内会	1
22	高島公務員住宅自治会	1
23	旭竜小学校 PTA	1
24	旭竜学区民生委員・児童委員協議会	1
25	旭竜地区社会福祉協議会	1
26	旭竜学区体育協会	1
27	旭竜学区環境衛生協議会	1
28	旭竜学区老人クラブ連合会	1
29	岡山市消防団宇野分団	1
30	社会福祉法人 昭友会	10
31	社会福祉法人 金曜会(わくわく祇園'S)	5
32	NPO法人 まんなか	5
	計	32団体 83人

⑧ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考 (加入団体 等)
1	会長				祇園上町内会
2	副会長				段原町内会
3	〃				八幡町内会
4	会計				祇園下町内会
5	実行委員				国府市場東町内 会
6	〃				今在家町内会
7	〃				藤の里町内会
8	〃				湯迫町内会
9	〃				祇園山手町内会
10	〃				山浦町内会
11	〃				高島地区民生委 員・児童委員協 議会
12	〃				祇園下町内会
13	〃				〃
14	〃				国府市場町内会
15	〃				国府市場東町内 会
16	〃				国府市場町内会
17	〃				祇園下町内会
18	〃				〃
19	〃				〃
20	〃				岡山市消防団高 島分団
21	〃				中島町内会

22	〃		70	高島二丁目西町 内会
23	〃		70	高島二丁目東町 内会
24	〃		80	八幡東町町内会
25	〃		40	高島公務員住宅 自治会
26	〃		40	旭竜小学校PT A
27	〃		70	旭竜地区民生委 員・児童委員協 議会
28	〃		50	旭竜学区体育協 会
29	〃		70	旭竜学区環境衛 生協議会
30	〃		80	旭竜学区老人ク ラブ連合会
31	〃		60	岡山市消防団宇 野分団
32	〃		70	八幡町内会
33	〃		70	中島町内会
34	〃		40	(社福) 昭友会
35	〃		30	(医法) たくふ う会
36	〃		40	音楽祭司会担当
37	協力団体		30	祇園下子ども会
38	〃		30	〃
39	〃		30	〃
40	〃		40	(社福) 金曜会
41	〃		30	(NPO法人) まんなか

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	627,500	529,100	
協賛金	180,000	146,000	連合町内会・単位町内会
負担金	0		
広告料	440,000	383,000	企業・団体
寄附金、他収入	4,500	177	寄附金
その他収入	0		
収入合計	1,252,000	1,058,277	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	28,000	25,442	トイレトーパー、ブルーシート他
②食糧費	91,000	28,930	会議用お茶代、スタッフ弁当代 他
③印刷製本費	132,000	144,939	チラシ、ポスター印刷代 他
④燃料費	10,000	755	ガソリン代
⑤光熱水費	0		
⑥通信運搬費	155,000	16,972	切手代、郵送代
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	5,000	4,950	振込手数料
⑨使用料	474,000	553,800	トイレリース代、発電機、音響設備使用料 他
⑩原材料費	10,000	0	
⑪委託料	146,000	111,100	警備委託料 他
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	195,000	168,320	出演者謝礼 他
⑭保険料	3,000	3,069	ボランティア保険料
小計(①)	1,249,000	1,058,277	
⑮新型コロナウイルス感染症防止対策経費	3,000	0	
小計(②)	3,000	0	
支出合計(①+②)	1,252,000	1,058,277	

○ 内容欄へは使用用途等を記入してください。

○ 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 5 年 12 月 25 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ 団体名 そうめいがつくきくらのみきじつこういんかい 操明学区桜並木実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 じつこういんちよう いけだ ゆたか 実行委員長 池田 裕

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	操明学区「桜祭り」	
事業実施区域 (小学校区)	操明小学校区	
① 地域の特色	※事業申込書に記入した内容について記入してください。 操明学区は東に百間川、西に旭川、南に児島湾と面しており、3方が水に囲まれた地域である。この地域は江戸時代の干拓によって生まれており、歴史も浅く、歴史的建造物や文化遺産は明治時代以降のものしかないのが現状である。 地域の社会資本として、また自然遺産として植樹された桜並木を通して、学区の一体感や自然愛護精神を広めていきたい。	
② 事業の目的・ 成果	該当事業項目に○を(複数可)	ア 防犯 イ 防災 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 支え合い オ 健康 <input checked="" type="checkbox"/> カ 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 ケ その他
※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。		
学区内の百間川西岸土手に20年前に完成した桜並木は、岡山市の桜の名所として定着しつつある。この桜並木を学区の財産として大切に育て、更に啓蒙を広める目的で実施されてきた「桜祭り」も、コロナウィルス感染症の拡大等で中止になった年もあるが、今年で21回目の実施となり、学区をあげた事業として欠かせられないものとなってきている。 また、連合町内会・各種団体・PTA・スポーツ少年団・かがやきクラブ・福祉施設まで、学区内のほとんど全ての団体に参加・協力をいただいていることで、学区全体の連帯感・一体感を高めることにつながると期待している。		

③ 事業の内容

○開催日時:令和 5年 4月 2日(日曜日) 10時 00分 ~ 13時 00分
雨天時:(小雨決行、中止、延期: 4月 9日 日曜日 10時 00分~)

○開催場所:岡山ふれあいセンター(岡山市桑野) 芝生広場及び軽スポーツ広場

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

- ① 桜並木及び桜祭りの写真展(1か月ほど前よりふれあいセンター内のプロムナードで実施)
- ③ 「桜の樹にみんなで花を咲かせましょう」コーナー
(大きな桜の樹にメッセージを書いた花びらをみんなに書いて貼り付けてもらいました。)
- ④ 小学生によるポスターコーナー(様々な桜の絵が楽しめました。)
- ④ レクレーション(ゲーム・昔遊び・グラウンドゴルフ)コーナー
- ⑤ ステージ(吹奏楽・大正琴・太鼓・大型紙芝居・ベリーダンス等)
- ⑤ 飲食及び展示テント(各種団体・JA・学区内協力企業・岡山県ボート連盟・消防等行政機関)
- ⑥ スタンプラリー(会場内、桜並木の見学場所等をクイズを解きながら訪れてもらいました。)
会場・ステージ・ゲームコーナー・スポーツコーナーの各々が連結し、ふれあいセンター内や桜並木見学場所も含め、スタンプラリー等で全てのエリアの踏破を楽しく目指してもらいました。

学区外で依頼をしている団体はほとんどなく、ほぼ学区内団体のみで運営した。テントの飲食コーナーなどは、自主運営で、本部が関与しないでも各団体に責任をもって行ってもらっている。

○感染防止対策の内容

※実施した感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

- ① 会場内の入り口(通路)にアルコール消毒液を設置し、手指消毒の徹底を呼びかけた。
- ② 本部テントにマスク・体温計を置き、必要な人に利用してもらった。
- ③ 放送等により①・②の周知を図り、合わせてソーシャルディスタンスを取るよう呼び掛けた。
- ④ 会場内に飲食のためのテーブル・椅子等は配置せず、パック入りで持ち帰れるものか、その場で座らなくても食べられるものに限定した。
- ⑤ 飲食の担当には使い捨てのビニール手袋を配布し、食材等に直接手で触れることがないようにした。
- ⑥ アルコールの販売は取りやめた。
- ⑦ ステージの出演者も人数を減じ、ソーシャルディスタンスの徹底を依頼した。
- ⑧ 3年まで実施していたふわふわハウスは、人との接触が避けられないために中止した。

運営スタッフ人数	430人	来場者数	6,500人
出演者人数	151人	天候	晴れ

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

桜並木及び元年度の桜祭りの様子を写真展として掲示する。同写真パネルを岡山ふれあいセンター内のプロムナードに、桜祭り実施1か月前から掲示し桜祭りの事前案内を行った。また、三幡軽便鉄道の模型を展示し、学区の歴史を紹介した。

また、食糧費(比率)が高いという指摘を受けたので、小学生のポスター作製の際にお渡ししている食券の費用等を食糧費ではなく報償費として計上していくように変更した。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

- ・桜という地域資源が活かされたイベントで魅力を感じます。ポスター展やステージ発表など、コロナによって減少した若者の発表の場がつけられていて、良いと思いました。
- ・地域に密着したものだと思い、「桜並木」について丁寧な説明もあり、桜の意義について知ることができました。
- ・実行メンバーに若手メンバーが加わると新たな視点を得られるので期待したいです。
- ・用地の問題もありますが、桜も20年程経過しているため、今後への期待も込めて「桜の植樹」を実施してはどうでしょうか。
- ・桜並木を学区の財産とするなら、写真展だけでなく、桜並木のウォーキング等の活動を加えてはどうでしょうか。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

- ・桜という地域資源を活かしたイベントにできた。
- ・地域の若者の発表の場とすることができた。
- ・桜並木の意義等の周知ができた。
- ・実行メンバーに若手を加える点については、PTA等に留まった。
- ・「桜の植樹」に関しては、現時点で考えてはいない。
- ・桜並木のウォーキングについては、百間川の土手上的の市道の交通量が多く、安全なスペースの確保が難しいのと、祭り会場以外に交通整理の人員を配置することが難しいので実施できていない。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

現在、学区の人口も増え、連合町内会や各種団体も世代交代の時期を迎えている。新たな飛躍や拡大が可能な状況にある反面、一体感を維持していくことに困難や今まで以上の労力が必要となってきたのも現状である。

地域での周知が広まり、ステージ・テント出店等の希望者が増えている流れを大切にしながら、今まで同様、学区を挙げて取り組む行事であるというスタンスを維持し、世代交代した各種団体を有機的に取り込んでいけるかどうか、この祭りの今後を左右するという認識のもと精力的に取り組んでいきたい。

また、岡山市の補助事業ではなく、学区の独自事業への変換も視野に入れつつ事業の運営を考える時期に来ていると思われます。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- I チラシを作成配布、 II HPに掲載、 III 市の広報紙に掲載、 IV TV、ラジオで公開、
V その他（ ）

内 容

- 全戸配布の広報誌 ○ 「桜祭り」の全戸配布チラシ
○ ポスター(小学生の手作り) ○ 岡山市全域への民間広報誌

上記広報物を通じて、学区内及び岡山市全域に広報・情報公開を行っている。

また、12月・1月・3月の実行委員会や各種団体長会議において、連合町内会・各種団体に対して、事業内容(申請書・企画書・予算書・決算書)の公開をしている。

詳細な決算書に関しては、連合町内会と実行委員会が保管・管理し要請があればいつでも開示できる体制をとっている。

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
R4年 11月 19日	コミュニティー協議会で事前会議
R4年 11月 26日	企画会議、出店・ステージ参加依頼
R5年 1月 10日	企画会議、出店・ステージ参加締め切り
R5年 1月 18日	準備会議、実施案作成・検討
R5年 1月 20日	企画会議、岡山市提出申込書内容確認
R5年 2月 13日	準備会議、実施内容確認・参加団体への要請事項協議
R5年 2月 15日	企画会議、全参加団体内容確認説明会
R5年 2月 22日	準備会議、実施案完成・チラシ内容・写真展の確認
R5年 3月 2日	準備会議、ポスター・食事券等の作成、運営確認
R5年 3月 15日	企画会議、貸出備品等の具体的配備計画の伝達会
R5年 3月 21日	準備会議、掲示物の作成、運営確認
R5年 3月 27日	準備会議、掲示物の作成、運営確認
R5年 4月 2日	当日、反省会議
R5年 4月 12日	反省会議
R5年 5月 10日	反省会議
R5年 12月 9日	会計監査

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
連合町内会	15
交通防犯協議会	35
交通安全母の会	20
体育協会	40
社会福祉協議会	8
環境衛生協議会	8
愛育委員会	16
操明小学校PTA	10
操明幼稚園PTA	5
操南中学校PTA	15
操明学区コミュニティー協議会(当日司会含む)	12
電子町内会	7
連合自主防災会	7
かがやきクラブ	10
かがやきクラブ江並上	12
かがやきクラブ二番用水	5
かがやきクラブ藤崎下	13
三幡消防団	7
JA三幡婦人部	8
大型紙芝居ぶんちやつちや	11
大正琴同好会	9
操南中学校吹奏楽部	46
岡山市レクリエーション協会	6
操明グランドゴルフ同好会	10
ベリーダンス同好会	15
太鼓同好会	70
岡山県ボート連盟	5
栄養改善協議会	5
計	28団体 430人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳 代)	備考(加入団体等)
1	委員長				(広報・植樹担当)コミュニティ協議会 副会長
2	〃				(整備・美化担当)連合町内会副会長、環境衛生協議会会長
3	副委員長				連合町内会会長
4	〃				連合町内会理事、コミュニティ協議会 会長
5	理 事				連合町内会副会長、江並下担当・自主防災会会長
6	〃				〃、藤崎上担当・青少年育成代表
7	〃				〃、桑野下担当・健康21
8	〃				〃、江並上担当・地域活性化
9	〃				〃、江並中担当・地域活性化
10	〃				〃、桑野下担当・地域活性化
11	〃				連合町内会総務
12	〃				連合町内会理事長、地区活性化支援
13	〃				連合町内会理事、体育協会会長
14	〃				〃、愛育委員会会長
15	〃				〃、交通安全対策協議会会長
16	〃				〃、交通安全母の会会長
17	〃				〃、社会福祉協議会会長
18	〃				〃、電子町内会会長
19	〃				〃、編集委員会委員長
20	〃				〃、かがやきクラブ会長
21	〃				〃、栄養改善協議会会長
22	〃				操明小学校校長
23	〃				操明幼稚園園長
24	〃				操明小学校PTA会長
25	〃				操明幼稚園PTA会長
26	〃				操南中学校PTA会長
27	〃				操明おやこクラブ会長
28	〃				コミュニティ協議会 副会長

29	委員		連合町内会理事、学校施設開放運営管理者
30	〃		〃、福祉・コミュニティ活動支援
31	〃		〃、電子町内会推進委員
32	〃		〃、広報担当
33	〃		〃、防犯協議会会長
34	〃		〃、岡山中央交通安全協会操明支部支部長
35	〃		コミュニティ協議会
36	〃		〃
37	〃		〃
38	〃		〃
39	会計		〃
40	監査		連合町内会会計

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	271,000	219,100	
協賛金	241,000	210,905	操明学区連合町内会より
負担金	0		
広告料			
寄附金、他収入	0		
収入合計	512,000	430,005	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	55,000	37,448	文具・ラミネートフィルム等
②食糧費	120,000	123,897	会議用飲料・役員食事代等
③印刷製本費	10,000	0	
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	5,000	0	
⑦広告料	60,000	55,000	月刊プラザ掲載料
⑧手数料	1,000	0	
⑨使用料	1,000	0	
⑩原材料費			
⑪委託料	45,000	49,470	司会・レクリエーション協会等
⑫工事請負費			
⑬報償費	175,000	146,000	ステージ出演謝礼・ポスター作製謝礼等
⑭保険料	10,000	9,926	イベント保険代金
小計(①)	482,000	421,741	
⑮新型コロナウイルス感染症防止対策経費	30,000	8,264	消毒液・ビニール手袋等
小計(②)	30,000	8,264	
支出合計(①+②)	512,000	430,005	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 5年 9月21日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ サンセダイコウリユクフレア イフエスタウノジツコウインカイ
 団体名 三世代交流ふれ合いフェスタうの実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ ヘットリ カズヒロ
 代表者氏名 実行委員長 服部 和博

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	三世代交流ふれ合いフェスタうの2023		
事業実施区域 (小学校区)	宇野小学校区		
①地域の特色	<p>※事業申込書に記入した内容について記入してください。</p> <p>昭和30年代までは近郊農業地帯であったが、現在では市街地へと発展し、核家族化が進み、高齢者と新世代の世帯が増加してコミュニケーションの場が必要となっている。</p> <p>当地域は、概ね標高5m前後あり、南海トラフ巨大地震による津波の心配は無いが、震度6弱も予想されている。旧旭川が通っていたため、地盤の脆弱性から液状化が起こりやすい。宇野学区は、ほとんどが旭川と百間川に囲まれている。そのため、平成30年7月初旬の西日本豪雨時では、護岸工事がほぼ完了しており、大きな被害はなかったが、想定外の降雨量により、内水によって、いたるところで道路は冠水し、部分的に床上浸水をした。</p> <p>しかしながら、大きな災害を経験しておらず防災意識が低く、防災についての啓発が重要課題となっている。</p> <p>また、岡山県の名門校県立岡山操山中学校・高等学校、発展著しい就実大学が存る文教地区であり、学生ボランティアとの交流が容易で実績もある。</p> <p>平成21年には、岡山市も政令市となり、中区役所を当学区に誘致できた。岡山中央警察署も存り、その警察署の指導によりゾーン30も岡山市内で一番に完成できた。文教・行政・防犯の中心学区として、新旧住民がふれ合い融和することの大切さを認識することにより、さらなる発展が期待される地域である。</p>		
②事業の目的・成果	該当事業項目に○を(複数可)	ア 防犯 <input checked="" type="radio"/> 防災 <input checked="" type="radio"/> 環境 <input checked="" type="radio"/> 支え合い オ 健康 カ 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 <input checked="" type="radio"/> その他(交通安全)	
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。</p> <p>・防災 防災意識の向上を図る為、西日本豪雨時の宇野学区被災状況写真を掲示し、担当者・岡山市中消防署署員により、宇野学区の現状を知らせる。全く知らなかった人も居り、一定の効果はあった。</p> <p>・環境 入口で持ち帰り用ごみ袋を配布し、燃えるゴミの持ち帰りをお願いする。期待以上に徹底でき、誇れる結果となった。</p> <p>・支え合い コロナで、3年間空白期間があり、実行委員・出店者・出演者の半数が、未経験であった。開催に当たり、皆が、若干の不安を持っていたが、お互いに支え合い、前回以上の来場者を、皆でもてなす事ができた。</p> <p>・人・歴史・文化等 コロナで休止していた期間に無くした物は計り知れないが、フル開催出来たことは、文化継承に繋がる。</p> <p>・その他(交通安全) 岡山中央警察署生活安全課・交通課をお願いして 27 一お願いし、児童の交通安全意識の向上を図る。</p>			

③事業の内容

○開催日時:令和 5年 7月29日(土曜日) 16時30分 ~ 20時30分
 ○開催場所:岡山市中区原尾島
 岡山市立宇野小学校グラウンド・体育館ピロティ・多目的教室、宇野コミュニティハウス

○事業実施内容
 ※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

- ・三世代・障害者交流
 - 開会 16:30
 - 1. 宇野小学校吹奏学部 演奏 16:30~
 - 2. 宇野認定こども園・浜保育園・原尾島こども園 歌・踊り 16:45~
 - 3. うのクラブ 踊り 17:00~
 - 4. 県立岡山操山中学校吹奏楽部 演奏 17:15~
 - 5. 焼肉弁当 兄弟漫才 17:30~
 - 6. 西山諒一郎とウクレレサウンズ(フラダンス有り) 17:45~
 - 7. クラブ活動紹介(宇野ファイターズ・宇野軟式野球) 18:20~
 - 休憩
 - 8. クッキーPカンナツ 演奏 19:00~
 - 9. UNOバンド 演奏 19:15~
 - 10. 烏城鞆鼓遊会 太鼓演奏 19:30~
 - 11. お楽しみ会 19:50~
 - 12. 夏総踊り 20:10~
 - 閉会 20:30

- ・防災
 - ・平成30年7月7日西日本豪雨での、宇野学区状況写真60枚を掲示する。
 - ・実行委員1名と中消防署員により、内水と西日本豪雨の説明し、防災意識向上に勤めた。

- ・環境美化
 - ・入口で、燃えるゴミ持ち帰り用のごみ袋を、ボランティア中学生より配布し、ゴミ箱(燃えるゴミ)を、無くす。思った以上の好結果を得られた。

- ・支え合い
 - ・丸三年間のブランクがあり、連合町内会(20町内会)・各種団体(18団体)・学校・園関係(11団体)の半数が未経験であったが、お互いに支え合い協力し合い汗を流して、前回(令和元年)より、約1000人増加した来場者を喜ばせる手作りのフェスタを実施できた。

- ・人・歴史・文化等
 - ・新しい実行委員・出店者・出演者が、「学区のことは、学区です。」という基本的な考え方を理解して実施できたことは、学区の文化として次世代に繋がって行く。

- ・その他
 - ・当日、百間川橋交番・後楽園交番に、特に閉会時の交通安全・防犯について、パトロール強化をお願いします。
 - ・岡山中央警察署生活安全課・交通課の方に、出店舗の一角で、交通安全・防犯について、啓発活動をして頂いた。

○感染防止対策の内容
 ※実施した感染防止対策の内容・方法などについて記入してください。

- ・2回開催の出店者打合せで、アルコール手指消毒を促す。
- ・スプレー式アルコールを、本部・夜店に配布する。マスクは個人判断とする。

運営スタッフ人数	554人	来場者数	3,452人(16~20時実測)
出演者人数	216人	天候	晴れ

④事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施に当たっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

- ・実行委員会の母体は、宇野学区安全・安心ネットワーク(49団体)に変える。メンバーは、若干の増加があるが、経験者は半数となっている。
- ・企画・開催を通して、各種団体・ボランティアとの絆の強さを前回以上に感じた。
- ・全体配置は、前回同様だが、出店者・出演者も半数が変更となった。前回出演者9団体が、今回12団体と参加希望が多く、開会17時の予定を、30分繰り上げ、16時30分からとする。
- ✓出店には、支援を必要とする親と子の会「たんぽぽの会」、就労継続支援A型事業所「ひとひら」、合同会社「とくのぼ」が参加(合計5店舗)してくれ、又、岡山県立岡山盲学校のバンド出演もあり、打合せも通して、障害者とのふれ合いの場となった。
- ✓入場者数のカウントに追加して、退場者数のカウントをすることにより、滞留者数を把握できた。
- ✓参加人数は、16時から20時までの計測で、3,452人となり、前回より525人の増加だが、16時30分開会としたため、16時以前にカウント漏れして入場した人が、500人以上いる。次回は、カウント開始を早める必要が有る。
- ✓16時以前から準備をしているスタッフ・夜店担当者・小学校吹奏楽部等を含むと、全体で4,380人と思われ、1000人以上の増加となる。
- ✓より多くの参加者があり、地域の連帯感を醸成することについては、成果があったと思われる。
- ✓イベントの始めに、小学校吹奏学部演奏・幼保園の歌踊り、県立岡山操山中学校演奏を配置したので、保護者や祖父母が早くから大勢来てくれた。
- ✓中学生ボランティアが、大勢(県立岡山操山中学校:30人、市立操山中学校:17人)来てくれ、アナウンサー入口でのカウンター、持ち帰り袋配布、パンフレット配布等してくれた。
- ✓燃えるゴミ持ち帰り袋の使用は、経費節減に繋がった。(処分費ゼロ)
- ・テント・机・椅子など、地域での活用をしている。
- ✓自主財源は、20町内会協賛金・企業協賛金を集めているが、企業協賛金は、コロナの影響で、若干の減少となり、その上物価高騰、出演・出店者増加により、支出は増えた。
- ・全体的には、ふれ合いのある住みよい明るい地域社会を築くことに大いに貢献できた。

○区づくり推進事業からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

- ✓A. 入場者数の把握など、数字に対する意識が有るところが良いと思いました。
- ✓B. 核家族化や高齢化、防災への意識など現代社会における課題に目を向けられていて良いと思いました。
- ✓C. 災害への備えとして、地域内の住民同士の認知は第一歩であり、非常に大切な点だと感じているので、住民同士互いを知るきっかけとなるようなイベントになることを期待しています。
- ✓D. 園児から高齢者・障害のある方等世代間交流ができ、触れ合える良い企画です。
- ✓E. 体育館等も使用し、展示パネルを増やしてはどうでしょうか。
- ✓F. 検討中の防災・交通安全等の取り組みは是非すすめていただきたいです。
- ✓G. イベント会場でごみを出さないよう配慮をしていただきたいです。例えば、入口で来場者に持ち帰り用のごみ袋を渡す等の取り組みを行うことで、スタッフも助かるのではないかと思います。
- ✓H. 飲食を伴う場合、食中毒を補償の対象とした保険の加入を検討してはいかがでしょうか。
- ✓I. 使用料について、業者からレンタルしているところは金額が突出しています。机・椅子等は各学区内の町内会から持ち寄せれば、学区内のコミュニケーションも取れ、経費も抑えられると思います。

○上記の助言及び意見を受けて事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

- ✓A: Ⅰ いつも通りだったが、30分早めて開会したので、検討の余地を残す。
- ✓B: Ⅰ 来場者数の増加で、全体的にはできた。
- ✓C: Ⅰ 担当者を決めて行ったことにより、内容の濃い説明ができ、防災意識の向上につながる。
- ✓D: Ⅰ プログラムによる。
- ✓E: Ⅳ 展示パネルを増加までは、手が回らない。
- ✓F: Ⅰ 「企画・運営・予算などの工夫」で説明。
- ✓G: Ⅰ 思う以上に成果が出た。次の日も、問題無かった。
- ✓H: Ⅰ 加入している。
- ✓I: Ⅲ テント・机・椅子など、地域で借りているが、不足分はレンタルせざるを得ない。コロナ後の価格高騰、来場者数増加により、経費は増えた。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤今後の課題(次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

(1)改善点

- ・夜店は、小学校グラウンドから、9店舗体育館下ピロティへ移し、町内会借用テント数も激減し組立解体数も大幅に減少できた。今後も同様にしていきたい。
- ・電源を発電機に変更し、経費節減できた。
- ・小・幼・保の演舞・演奏は、非常に多くの保護者・祖父母の参加がある。今回県立岡山操山中学校の吹奏楽部演奏を追加したため、いつもだと、終了すると大幅に滞留者数が減少するが、今回はそのままの状態、非常に滞留者数が多かった。
- ・夜店配置については、多少の余裕があるが、これ以上の増加は、余り好ましくない。今回飲物が少なかった。来期は、売り物について、夜店担当者の意見を聞きながら調整をしたい。
- ・来場者数・退場者数をカウンターを使い数えた。滞留者数は、2100人程おり、対応として机20台椅子50脚をリースして増やしたことは良かったが、経費が増えた。

(2)実行委員の高齢化対策

- ・中学校生ボランティアが大勢来てくれた。将来大人になり、実行委員になってくれれば良い。

(3)将来像

- ・来場者数に実行委員・夜店担当者・出演者を加えると、約4500人越えになった。前回、片付は、来場者も手伝ってくれ、当日終了後に行ったが、今回は、暑さも加わり、片付は翌日とした。
- ・来場者と一体となった手作りフェスタに行きたい。

⑥事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的内容について記入してください。

- ① チラシを作成配布、 Ⅱ HPに掲載、 Ⅲ 市の広報誌に掲載、 Ⅳ TV、ラジオで公開、
 ⑤ その他

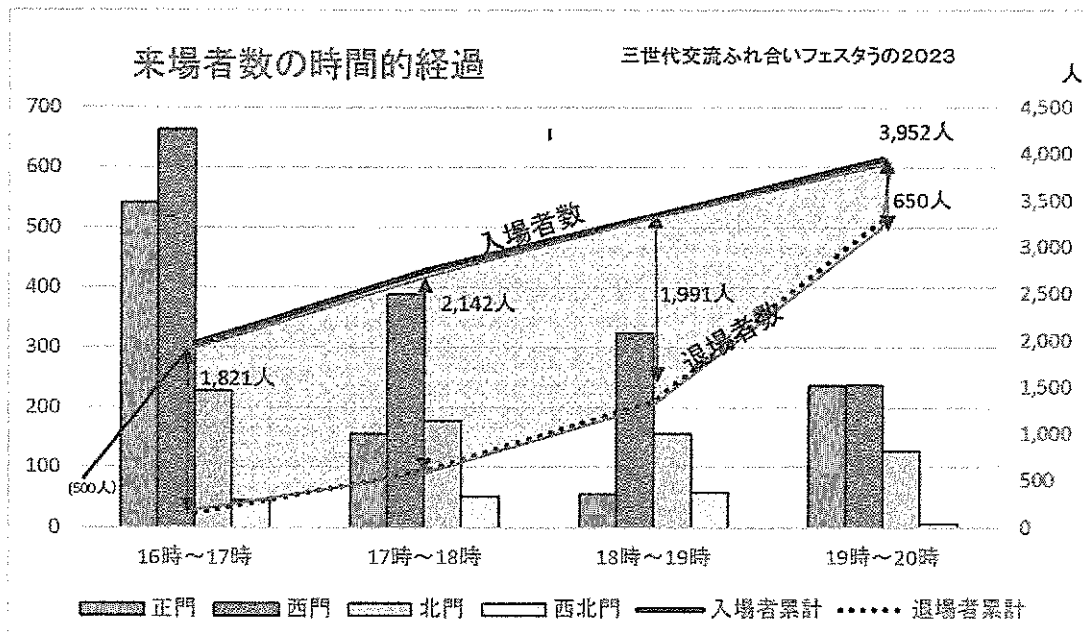
内容:

- ・A4版カラーチラシを、2000枚作成し、小学校児童は小学校から全員に配布して頂く。必要部数を町内会へ配布し回覧をお願いする。その他保育園・幼稚園・中学校のものも配布する。
- ・A3版カラー掲示物は、200部作成、ラミネート加工をして配布し、各町内会に掲示を依頼する。

⑦事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
令和5年3月30日(木)	安全・安心ネットワーク全体会で、フル開催を発表する
令和5年4月11日(火)	連合町内会役員会で、進め方について検討する。
令和5年5月12日(金)	連合町内会総会資料令和5年度事業計画に手作り実施を記述する
令和5年5月17日(水)	DAI打合せ ステージ・照明・電気工事等
令和5年5月25日(木)	第1回実行委員会開催 43名
令和5年6月13日(火)	連合町内会役員会を実行委員会役員会に変えて開催 17名
令和5年6月16日(金)	第1回出店者打合せ開催 25名
令和5年6月29日(木)	第2回実行委員会開催 43名
令和5年7月11日(火)	岡山中央警察署出店打合せ
令和5年7月11日(火)	役割分担について検討する
令和5年7月14日(金)	県立岡山操山中、ボランティア打合せ
令和5年7月18日(火)	市立操山中学校ボランティア担当者打合せ
令和5年7月21日(金)	第2回出店者打合せ 27名
令和5年7月25日(火)	県立岡山操山中、アナウンサーボランティア児童と打合せ
令和5年7月27日(木)	第3回実行委員会 42名
令和5年7月28日(金)	テント位置出し、駐輪場線引き 6人
令和5年7月29日(土)	三代交流ふれ合いフェスタ2023開催 16:30～
令和5年7月30日(日)	片付 60人
令和5年8月8日(火)	8月度連合町内会役員会 5名
令和5年8月31日(木)	会計監査・反省会 24名参加

三世代交流ふれ合いフェスタの2023 来場者数グラフ



【実測値】

	正門	西門	北門	西北門	入場者累計	退場者累計	滞留者数
16時以前					500		
16時～17時	541	663	228	45	1,977	156	1,821
17時～18時	155	388	178	51	2,749	607	2,142
18時～19時	56	324	157	59	3,345	1,354	1,991
19時～20時	236	237	127	7	3,952	3,302	650
合計	988	1,612	690	162			

■来場者数全体

16時以前(推定)	500
16時～20時実測	3,452 (H29 2,627 H30 2,758 R1 2,927)
本部・出店舗	194
出演者	134
20時以降来場者数(推定)	100
合計	4,380

⑧事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等		事業運営のスタッフ 人数
【運営スタッフ】		
1	宇野学区安全・安心ネットワーク(各町内会関係)	20
2	宇野学区連合町内会	1
3	宇野学区コミュニティハウス運営委員会	1
4	宇野地区社会福祉協議会	1
5	宇野学区交通安全対策協議会	1
6	宇野学区防犯安全パトロール隊	1
7	宇野学区婦人会	3
8	宇野学区交通安全母の会	25
9	宇野学区愛育委員会	1
10	宇野学区環境衛生協議会	1
11	宇野地区民生委員児童委員協議会	1
12	宇野学区子ども会	1
13	宇野学区スポーツ協会	5
14	岡山市消防団宇野分団	5
15	宇野学区老人クラブ連合会	1
16	岡山市立宇野小学校PTA	1
17	うのクラブ	1
18	宇野学区栄養改善協議会	1
19	親子クラブ	1
20	岡山市立宇野小学校	10
21	岡山市立操山中学校	22
22	岡山市宇野認定こども園	3
23	岡山市浜保育園	3
24	岡山市立操山公民館	1
25	岡山県立岡山操山中学校	31
26	原尾島こども園	10
27	岡山市福祉交流プラザうの	1
28	岡山市浜川原児童館	1
29	就実大学・就実短期大学	1
30	岡山県立岡山盲学校	1
31	元宇野学区連合町内会長	1
32	元宇野学区コミュニティハウス協議会会長	1
33	宇野学区スポーツ協会 (放送設備担当)	1
小計		159

事業運営への参加団体等		事業運営のスタッフ 人数
【出店者】		
34	宇野学区民生委員児童委員協議会	18
35	宇野学区愛育委員会	11
36	宇野バレーボール	5
37	うのっこ食堂	5
38	宇野ファイターズ	20
39	岡山県立岡山操山中学校	27
40	穰子ども会	4
41	うのクラブ	15
42	岡山中央警察署	4
43	たんぽぽの会	27
44	ひとひら	5
45	とくのば	6
46	岡山医療生活協同組合	8
47	宇野軟式野球	20
48	岡山市中消防署	4
小計		179

【出演者】		
49	宇野小学校吹奏	45
50	宇野認定こども園歌・踊り	30
51	浜保育園歌・踊り	6
52	原尾島こども園歌・踊り	29
53	うのクラブダンス	10
54	岡山県立岡山操山中学校吹奏	15
55	焼肉弁当(兄弟漫才)	2
56	西山諒一郎とウクレレサウンズ(フラダンス含む)	25
57	宇野ファイターズ クラブ活動紹介	15
58	宇野軟式野球 クラブ活動紹介	15
59	クッキーPカンナッツ演奏	3
60	UNOバンド演奏	6
61	鳥城穰鼓遊会	15
小計		216
計	61団体	554人

三世代交流ふれ合いフェスタ2023 事業実施メンバー

NO	申 込 の 団 体 職	氏名	住 所	年 齢 (歳代)	備 考 (加 入 団 体 等)
1	実行委員				浜元町 町内会
2	実行副委員長				浜本町 町内会
3	監事				浜二丁目 町内会
4	監事				浜操山町 町内会
5	実行委員				浜みどり町 町内会
6	兼務				原尾島原 町内会
7	実行委員				原尾島尾島 町内会
8	実行委員				原尾島倉淵 町内会
9	兼務				原尾島操山 町内会
10	実行委員				御園町 町内会
11	実行副委員長				穰東町 町内会
12	会計				西川原本町 町内会
13	実行委員				西川原西町 町内会
14	実行委員				西川原仲町 町内会
15	実行副委員長				東川原 町内会
16	実行副委員長				竹田 町内会
17	実行委員				西竹田 町内会
18	実行委員				竹田新町 町内会
19	実行委員				竹田上 町内会
20	実行委員				グラン・コート穰 町内会
21	実行委員長				宇野学区安全・安心ネットワーク(連合町内会)
22	実行副委員長				宇野学区コミュニティハウス運営委員会
23	事務局長				宇野地区社会福祉協議会
24	実行副委員長				宇野学区交通安全対策協議会
25	兼務				宇野学区防犯安全パトロール隊
26	実行副委員長				宇野学区婦人会
27	実行副委員長				宇野学区交通安全母の会
28	実行委員				宇野学区愛育委員会
29	実行副委員長				宇野学区環境衛生協議会
30	実行副委員長				宇野地区民生委員児童委員協議会
31	実行委員				宇野学区子ども会
32	実行副委員長				宇野学区スポーツ協会
33	実行委員				岡山市消防団宇野分団
34	実行委員				宇野学区老人クラブ連合会
35	実行副委員長				岡山市立宇野小学校PTA
36	実行副委員長				うのクラブ
37	実行委員				宇野学区栄養改善協議会
38	実行委員				親子クラブ
39	顧問				岡山市立宇野小学校
40	顧問				岡山市立操山中学校
41	顧問				岡山市宇野認定こども園
42	顧問				岡山市浜保青園
43	顧問				岡山市立操山公民館
44	顧問				岡山県立岡山操山中学校
45	顧問				原尾島こども園
46	顧問				岡山市福祉交流プラザうの
47	顧問				岡山市浜川原児童館
48	顧問				就実大学・就実短期大学
49	顧問				岡山県立岡山盲学校
50	実行副委員長				安全安心ネットワーク
51	事務補助				岡山市立宇野小学校
52	事務補助				岡山市立宇野小学校
53	協力者				元宇野学区連合町内会長
54	協力者				元宇野学区コミュニティハウス協議会会長
55	協力者				スポーツ協会 (放送設備担当)

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	480,000	412,200	
協賛金	350,000	338,000	地元企業協賛金
負担金	11,000	14,000	地域団体負担金
広告料			
寄附金、他収入	220,080	349,111	地元町内会寄付金
収入合計	1,061,080	1,113,311	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	75,000	49,439	事務用品等
②食糧費	50,000	51,334	当日役員等 飲料代、食事代
③印刷製本費	53,000	49,778	カラーチラシ代、カラー掲示板用、会議資料印刷代
④燃料費	30,000	0	
⑤光熱水費	0		
⑥通信運搬費	0	0	
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	1,080	5,720	通帳開設手数料、振込手数料
⑨使用料	250,000	71,600	音響機器、コミュニティハウス使用料
⑩原材料費	0	0	
⑪委託料	305,000	708,000	ステージ設置等委託、写真撮影
⑫工事請負費	120,000	0	
⑬報償費	62,000	130,060	出演者謝礼等
⑭保険料	35,000	35,160	傷害他 保険費用
小計(①)	981,080	1,101,091	
⑮新型コロナウイルス感染症防止対策経費	80,000	12,220	アルコール手指消毒液 19本
小計(②)	80,000	12,220	
支出合計(①+②)	1,061,080	1,113,311	✓

○ 内容欄へは使用用途等を記入してください。

○ 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 5 年 9 月 19 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ
団体名 財田ふれあい夏祭り実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ
代表者役職・氏名 実行委員長 なかもとあつひろ 中元篤宏

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	財田ふれあい夏祭り /	
事業実施区域 (小学校区)	財田小学校区	
① 地域の特色	※事業申込書に記入した内容について記入してください。 古くからの住民と新興住宅地の増加で転入してこられる人が混在している地域 住みやすく利便性もよいことからベッドタウンとして若い世代が新居を構え住民が増 加している。 在日外国人の方も多く、人権問題に取り組んでいる。 百間川が近く、西日本豪雨以降は防災への意識が年々高まっている。	
② 事業の目的・ 成果	該当事業項目に○を(複数可)	㊦ 防犯 ㊧ 防災 ㊨ 環境 ㊩ 支え合い オ 健康 カ 自然等 キ 特産物等 ㊪ 人・歴史・文化等 ㊫ その他
※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入 してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決に つながったなどといった成果(効果)について記入してください。 イベント企画を通じて、学区内の各種団体及び竜操中学校生のボランティアを含め、学区内の幅広い 住民 との交流を図り、地域内の相互連帯・親睦を深める。 防犯、防災の啓発ブースを設け、現在の取り組みや今後の展望などを紹介して連携強化につなげ、災害に 強い地域を目指す。 継続して開催する事で次世代の地域の担い手を育成する。 開催後の感想としては前回をはるかに上回る参加者となり開会行事から様々な催しの間も会場の一体感が ひしひしと伝わりコロナ禍による中止期間があったが財田学区の代表的なお祭りとなった。また、大学生のボ ランティアも多く参加いただき学生さんに地域の良さを感じてもらい卒業後もこの地域での就業を希望して もらえるきっかけとなったのではないのでしょうか。		

③ 事業の内容

○開催日時: 5年7月29日(土曜日) 17時30分～21時30分
雨天時:(小雨決行、中止、●延期: 9月3日 日曜日 17時30分～)
延期も雨天の場合は中止

○開催場所: 財田小学校 グラウンド

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

- ① IPU 吹奏楽サークルによるオープニング演奏
- ② 開会行事
- ③ IPU 学生によるこどもショー(歌・ダンス)
- ④ 夜店(単位町内会有志・IPU 学生有志・スポ少有志) 合計 12 店舗
- ⑤ 老人福祉施設入居者の招待
- ⑥ 環境に配慮し、分別収集用のゴミ箱を多数配置し、担当者による指導及び回収を行なう
- ⑦ 花火の打ち上げ(100発程度)
- ⑧ 防災組織の活動報告の掲示、防災グッズの展示・指導

○感染防止対策の内容

※実施した感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

- ① 手指消毒液の設置
- ② 夜店ブースに送風機で風を送り空気を循環させた。
- ③ ステージや夜店の配置を工夫して各所での密集を防ぐ
- ④ マスク着用での参加を呼びかける

運営スタッフ人数	30 人	来場者数	約 2,300 人
出演者人数	40 人	天候	晴れ

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

- ① 学区内の三・四世代が集い、ふれあい楽しみ、夜店や盆踊り、ゲームなどで相互親睦を図ることが出来た。盆踊りは地域の婦人部がお手本となって踊り、その後ろを若者や子供たちが見様見真似で踊っていき最後は大きくきれいな円となって上手く踊っていました。
- ② 竜操中学校との連携を深めるため、ボランティアを募集して18名が参加してくれました。IPU 学生さんの子供向けブースのお手伝いをしたり、町内会のブースで地域のお年寄りと一緒に販売のお手伝いをしてくれました。
- ③ 社会福祉施設の人たちを招き楽しんでいただきました。気温が高かったため最後まではおられませんでしたが久しぶりのお祭りの雰囲気笑顔で帰られました。
- ④ 地域内に居住する在日外国人の方々も多く参加されて盆踊りを楽しんでいました。
- ⑤ 4年ぶりの開催となるため打ち上げ花火を実施しました。間近で上がる花火の迫力に皆さん歓声を上げられていました。花火の予算を確保するため、レンタル費用の削減や協賛金のお願いなど努力しました。
- ⑥ 防災ブースで防災学習 DVD の上映や防災備品の紹介を計画していましたが、開会時間までに設営が間に合わず、予定通りできませんでした。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

多世代・他文化交流が盛んにできるイベントになるよう学区内に広く案内ポスターを配付し、多くの参加者に来場してもらいました。大きなトラブルはなく世代、文化を超えて皆さんに楽しんでいただきました。

後日、いろんなどころから反響があり「とてもよかった」と良い感想をいただきました。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等（右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。）

多世代、他文化交流などの活動目標は実施できたと考えますが、防災啓発については、設営が間に合わず予定していた啓発活動が出来なかった。

審査会では防災の取り組みも評価して頂いていたが実施できず次年度への課題となった。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

Ⅰ できた

Ⅱ おおむねできた

Ⅲ 一部できなかった

Ⅳ まったくできなかった

Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

準備段階において指示する役員が限られており時間を要した。次年度に向けては各役割ごとのリーダーに必要な情報を共有し平均的に準備が進むよう工夫する。

地域還元のため屋台の販売価格を低く設定しているため物価高騰分を吸収できず赤字になったブースもあった。事前協議で話し合い調整して出店者が損益を出さないよう工夫する。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- ① チラシを作成配布、 Ⅱ HPに掲載、 Ⅲ 市の広報紙に掲載、 Ⅳ TV、ラジオで公開、
 ⑤ その他（ポスター うちわ タオル）

内 容

I

PU の学生さんがデザインしてくれたポスターを作成して学区内各所に貼り出した。また各町内会には実行委員会独自で作成したチラシを配布して参加を募った。

当日は参加者にうちわの配布や協賛企業に祭りの名前入りタオルを配布した。

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
令和5年6月9日	<p>第1回実行委員会</p> <p>スケジュールや催しの内容など全体的な概要を話し合った。</p>
令和5年6月22日	<p>第2回実行委員会</p> <p>出店屋台の出店内容や必要機器など決定する。</p> <p>ステージ企画や来賓について協議する。</p>
令和5年7月5日	<p>第3回実行委員会</p> <p>準備スケジュールや各テントの配置、必要なテーブルや椅子の数など決定し総数の調整をする。</p> <p>当日の進行スケジュールも決定し閉会後の片付け日程も相談する。</p>
令和5年8月2日	<p>定例幹事会</p> <p>定例幹事会の中で夏祭りの総括を行い評価、反省点の意見を出し合った。</p>
令和5年8月8日	<p>決算会議</p> <p>必要経費の精算を行い収支決算書を作成する。</p>

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
財田学区連合町内会(単位町内会含む)	60
財田コミュニティー協議会	1
財田学区交通安全母の会	2
岡山市消防団財田分団	8
財田学区体育協会	5
財田学区愛育委員会	2
財田学区栄養委員会	2
財田学区社会福祉協議会	3
財田学区民生児童委員協議会	2
財田学区老人クラブ連合会	1
安全安心ボランティア	1
財田小学校	2
竜操中学校	2
IPU こども発達学科	30
岡山市福祉交流プラザさいでん	1
岡山市立竜操中学校ボランティア	18
IPU 学生ボランティア	50
計	17 団体
	190 人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体での 役職	氏名	住所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	実行委員長				神下町内会会長
2	副実行委員長				神下町内会副会長
3	副実行委員長				下町内会会長
4	事務局長・兼務				米田新町町内会会長
5	会計・兼務				長岡町内会会長
6	監査				長利町内会
7	監査				学区連合町内会監査
8	企画委員長・兼務				長岡町内会会長
9	実行委員				東神下町内会会長
10	実行委員				東岡山住宅団地町内会会長
11	実行委員				長利町内会会長
12	実行委員				東乙多見町内会会長
13	実行委員				米田町内会会長
14	実行委員				県住第1町内会会長
15	実行委員				県住第2町内会会長
16	実行委員				県住第4町内会会長
17	実行委員				県住第5町内会会長
18	実行委員				乙多見町内会会長
19	実行委員				南乙多見町内会会長
20	実行委員				乙多見新町町内会会長
21	実行委員				乙多見宮の里町内会会長
22	実行委員				田草町内会会長
23	実行委員				鉄工団地町内会会長
24	実行委員				財田小学校 PTA 会長
25	実行委員				学区交通安全母の会会長
26	実行委員				財田コミュニティー協議会事務局
27	実行委員				市消防 財田分団団長

28	実行委員		学区体育協会会長
29	実行委員		学区愛育委員会会長
30	実行委員		学区栄養委員会会長
31	実行委員・兼務		学区社会福祉協議会会長
32	実行委員・兼務		学区民生児童委員協議会会長
33	実行委員		学区主任児童委員
34	実行委員		学区老人クラブ連合会会長
35	実行委員		福祉交流プラザさいでん館長
36	特別委員		財田小学校校長
37	特別委員		財田幼稚園園長
38	特別委員		財田保育園園長
39	特別委員		神下保育園園長
40	特別委員		乙多見保育園園長
41	特別委員		財田児童センター館長

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	500,000	500,000	区づくり事業補助金・コロナ対策費
協賛金	1,000,000	1,192,000	企業等賛助金
負担金	100,000	1,754	実行委員会
広告料		0	
寄附金、他収入	200,000	200,000	単位町内会賛助金
収入合計	1,800,000	1,893,754	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	120,000	92,352	事務用品等
②食糧費	50,000	46,346	会場準備要員等の弁当代
③印刷製本費	330,000	100,720	案内状・チラシ・タオル・ポスター等
④燃料費	0	22,220	プロパンガス
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	150,000	1,218	郵送代等
⑦広告料		0	
⑧手数料	10,000	9,330	振込手数料
⑨使用料	600,000	290,160	机・椅子・出店機材等
⑩原材料費		102,708	会場機材・氷等
⑪委託料	10,000	480,000	打ち上げ花火・消防届け出手数料
⑫工事請負費	360,000	495,000	電気工事一式
⑬報償費	20,000	0	櫓設備等
⑭保険料	50,000	138,270	イベント保険料等
小計(①)	1,700,000	1,778,324	
⑮新型コロナウイルス感染症防止対策経費	100,000	115,430	送風機・アルコール消毒
小計(②)	100,000	115,430	
支出合計(①+②)	1,800,000	1,893,754	

○ 内容欄へは使用用途等を記入してください。

○ 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)



令和 5年 12月 12日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ とみやまぶんか 団体名 富山文化まつり実行委員会
フリガナ じっこういんかい

所在地

連絡先

フリガナ いいんちよう えんどう ただし 代表者役職・氏名 委員長 遠藤 正

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第19回 富山文化まつり
事業実施区域 (小学校区)	富山小学校区
① 地域の特色	<p>※事業申込書に記入した内容について記入してください。 富山学区内に世界かんがい施設遺産である倉安川が流れ、背後には緑豊かな操山を望み、池田家の菩提寺である曹源寺もあり学区民の文化的意識も高い地域である。 学区民が相互協力して地域活性の為のイベント等に協力的である。</p>
② 事業の目的・ 成果	<p>該当事業項目に○を(複数可)</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> ア 防犯 <input type="checkbox"/> イ 防災 <input type="checkbox"/> ウ 環境 <input checked="" type="checkbox"/> エ 支え合い <input checked="" type="checkbox"/> オ 健康 <input checked="" type="checkbox"/> カ 自然等 <input type="checkbox"/> キ 特産物等 <input checked="" type="checkbox"/> ク 人・歴史・文化等 <input type="checkbox"/> ケ その他 </p>
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山文化まつりを通じて地域の輪 文化の輪が広がった。 ・各種団体の活動を富山文化まつりを通じて地域民に知ってもらう事が出来た。 ・幼児から高齢者の方々まで沢山の山の方々が参加され(述べ人数 2,895 名)、交流を通じて明るく思いやりのある地域活性イベントが出来た。 ・富山文化まつりの開催により、学区内の各種団体、企業等が参画し学区内の連帯感が高まり地域活性に貢献できた。 	

③ 事業の内容

- 開催日時:令和 5年 10月 28日(土曜日) 10時 00分 ~ 18時 00分
10月 29日(日曜日) 10時 00分 ~ 15時 00分
- 開催場所:富山公民館・岡山市立富山小学校体育館及び校庭・さくら学園ホール

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

富山文化まつり実行委員会として下記の事業にて運営

① 作品展示

公民館講座等や地域で活躍されている方々の制作した作品を学区民に観てもらうためのレイアウトや展示者と打ち合わせを行い展示場所の設営を行った。設営に際して地域の企業より若い方の応援をいただき無事に設営を終えた。結果として沢山の方々の参加があった。

② 舞台発表

公民館講座や地域で活躍されている個人や団体が富山小学校体育館のステージで歌や踊り、演舞
富山中学校の吹奏楽や富山ハートフルバンド(小学生の吹奏楽バンド)、晴吹による演奏で観ている方も奏者も一体となって盛り上がった。
さくら学園ホールで開催した「音でつながる富山コンサート」にも沢山の方が演奏を聞きに来られました。

③ 体験

幼児から高齢者の方までが体験できるコーナー。今年はデニムのはぎれで小物を作ったり、工作では折り紙花火が人気で親子での参加が多数見られた。また、介護の関係の体験として 足浴、足裏マッサージに沢山の方が行列をつくっていた。

④ 模擬店

体育館会場では飲食の店はなく、野菜販売や手芸品、ビンゴゲーム等でそれなりの盛り上がりは出来ていた。
公民館会場では焼き鳥・たこ焼き・ポップコーン・カレーハウス・カフェもあり、

⑤ 広報部

富山文化まつりニュース1号・2号・パンフレット・ポスターの作成(富山中学校美術部の生徒作)
学区内の事業所、公園等を中心にポスターの掲示(約100ヶ所)をしていただいた。
横断幕・のぼり旗(約80本)の設置等を舞台発表出演者、展示出店者で行う。

⑥ その他

子どもの遊びコーナーでは地域の「おやじの会」の皆さんが子供と一緒にハンターゲーム等で汗を流し走り回っていた。キッズパークではスーパーボールすくい・当てくじ・輪ゴム鉄砲・ハロウインの撮影スポット等もあり、年代を問わず参加者が楽しんでいた。
今年は中学生吹奏楽が体育館外でサプライズ演奏会等で盛り上げに一役かっていた。

○感染防止対策の内容

※実施した感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

感染防止対策について

体育館、公民館、さくら学園 会場入り口受付周辺にアルコール消毒液を準備。各会場ではアース製薬が販売している AquaCreate スプレー式除菌剤(ノンアルコール、無香料、低刺激)にてテーブル、椅子、手すり等を除菌。

スプレー式除菌剤を体育館内、公民館内、さくら学園ホールに散布した。

体育館内に救護用テントを設置(体調不良者の一時的な救護所として)

マスク着用についてはコロナも第5類に移行されたので個人判断とした。

運営スタッフ人数	26人	来場者数	述べ人数	2,895人
出演者人数	約200人	天候	晴天	

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

- ・富山文化まつり出品・出店・出演等の募集案内を学区内全戸に配布。
- ・小さい子ども達が楽しめる遊びのコーナーやキッズパークを企画したことで家族で参加してくれた。
- ・コロナも第5類に移行したが入場口ではアルコール消毒と机や椅子の除菌作業を行った。
- ・会場を3会場に分散。小学校では公民館活動をされているグループの歌や踊り、演舞の発表。
公民館会場では、作品展示や飲食店、キッズパーク(親子で楽しめる)、各種の体験コーナーで賑わい
さくら学園ホールではアーティスト(富山学区在住)の方々の歌や演奏で楽しんだ。
- ・富山ウィークリーやスタンプラリーを実施。
- ・新しい取り組みとしてゴミを出さないイベントに挑戦。リユース食器の利用等でゴミが2袋(45L)だった。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

提出済

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

提出済

助言等の内容について、
事業へ反映できましたか。

Ⅰ できた

Ⅱ おおむねできた

Ⅲ 一部できなかった

Ⅳ まったくできなかった

Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

コロナでの自粛がなくなり出演参加者が増えた事により、体育館の使用時間が10時～18時までとなり内容的にはダラダラとした感じになった。来年度は時間を短くして内容の濃い発表に出来るようにしたい。

ゴミ削減について今年度は出来たと思う。来年も出店者からリユース食器の使用を求められている。来年度は舞台発表等の内容を変える事が出来ないか検討中。参加者がワクワクするような取り組みも必要と考える。

若いスタッフの加入を求める。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- I チラシを作成配布、 II HPに掲載、 III 市の広報紙に掲載、 IV TV、ラジオで公開、 V その他（横断幕・のぼり旗を設置・ポスターの掲示）

内容

富山文化まつり ニュース1号・2号を学区内に全戸配布。

富山文化まつり Weekly の案内を学区内に全戸配布。各町内や倉安川沿いの歩道等に掲示。

横断幕を小学校前に設置。のぼり旗を学区内に約80本立てた。

連合町内会のHPに掲載。

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
令和5年2月21日	第1回役員会
令和5年4月16日	第1回実行委員会
令和5年5月6日	第2回役員会
令和5年5月19日	ニュース1号の発行(参加募集・一般ボランティア募集等)
令和5年7月1日	第3回役員会
令和5年7月8日	第2回実行委員会
令和5年9月2日	第1回参加者合同説明会
令和5年9月4日	富山中学校ボランティア説明会
同日	第4回役員会
令和5年9月21日	ニュース2号の発行(プログラム・企画等掲載)
同日	文化まつり Weekly 発行
令和5年10月7日	第2回参加者合同説明会
同日	のぼり旗・横断幕設置
令和5年10月14日	第3回実行委員会
令和5年10月26日	文化まつり準備(使用物品仕分け作業)
令和5年10月27日	文化まつり準備(西大寺公民館に備品借用・会場設営)
令和5年10月28日	第19回 富山文化まつり
令和5年10月29日	第19回 富山文化まつり 終了後 会場の片づけ・備品返却
令和5年11月25日	参加者合同反省会
同日	実行委員会反省会

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
① 富山学区連合町内会	21町内
② 富山文化まつり実行委員会	26名
③ 富山幼稚園	50名
④ 富山小学校	50名
⑤ 富山中学校	80名
⑥ 富山こども園	30名
⑦ 富山学区民	400名
⑧ 富山電子町内会	10名
⑨ 富山スポーツ少年団 後援会	16名
⑩ 富山学区コミュニティー協議会	5名
⑪ 交通安全 母の会	15名
⑫ 富中ハートフルバンド	40名
⑬ 晴吹ブラスバンド	45名
⑭ 愛育委員会	20名
⑮ 元気の出る会	10名
⑯ サロン・ド・ミュゼとみやま	11名
⑰ 富山学区婦人会	8名
⑱ 若松園	20名
⑲ 富山荘	20名
⑳ 恵風荘	20名
	(21町内は除いた数字)
計	20 団体 876 人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	会長				富山学区連合町内会会長
2	委員長				
3	副委員長				
4	副委員長				
5	副委員長				
6	部会長				
7	部会長				
8	部会長				
9	会計				
10	総務・書記				
11	委員				
12	委員				
13	委員				
14	委員				
15	委員				
16	委員				
17	委員				
18	委員				
19	委員				
20	委員				
21	委員				
22	委員				富山中学校教頭
23	委員				富山小学校副校長
24	委員				富山小学校教頭
25	監事				
26	監事				

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

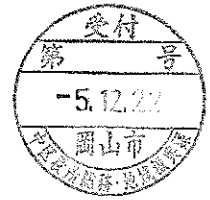
項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	420,000	296,600	482,300/2+55,491(100円未満切捨て)
助成金	50,000	50,000	富山学区自治振興会より
協賛金	145,000	94,200	作品出展、出演料等
広告料			
寄附金、他収入	125,000	96,990	模擬店出店料等
利息		1	
収入合計	740,000	537,791	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	160,000	73,767	封筒、文具、用紙、賞状等
②食糧費	70,000	87,859	事業当日の昼食、飲料等
③印刷製本費	110,000	181,867	印刷、コピー
④燃料費	0	2,000	ガソリン
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	50,000	7,984	切手、はがき等
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	18,000	7,579	クリーニング等
⑨使用料	48,000	14,000	ホール使用料
⑩原材料費	30,000	0	
⑪委託料	40,000	18,000	警備
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	80,000	61,244	出演料、音響運営等
⑭保険料	34,000	28,000	保険料
小計(①)	640,000	482,300	
⑮新型コロナウイルス感染症防止対策経費	100,000	55,491	消毒液、救護用テント・テーブル等
小計(②)	100,000	55,491	
支出合計(①+②)	740,000	537,791	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。



岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 5 年 12 月 22 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ヒライマツリジッコウイインカイ
団体名 平井まつり実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ インゾウ ハナオカ エイトロウ
代表者役職・氏名 委員長 花岡 栄太郎

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	平井まつり“2023”
事業実施区域 (小学校区)	平井小学校区
① 地域の特色	※事業申込書に記入した内容について記入してください。 新型コロナウイルス感染拡大により、地域活動に最も重要な、住民相互のコミュニケーションが薄れつつありますが、この事業を継続していることで、地域を知り、人と人の繋がりができてきている。
② 事業の目的・ 成果	該当事業項目に○を(複数可) ア 防犯 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 ウ 環境 エ 支え合い オ 健康 カ 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 ケ その他
※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。	
「目的」 学区の学校園・各種団体及び地域の企業が一致団結し、行政機関との協働で開催して楽しみながら地域の繋がりと防災・防犯・交通安全の意識向上の場を提供する。	
「成果」 これまでにない参加者(約 3,000 人)となり、地域での最大行事として定着して地域の人々の交流が出来てきた。 また、行政や企業の参加により安全で安心して暮らせる地域づくりへの意識も出てきた。	

③ 事業の内容

○開催日時：令和 5 年 10 月 28 日(土曜日) 9 時 40 分 ～ 14 時 00 分

○開催場所：岡山市立平井小学校

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

- ・校舎内 親子で楽しむ木工教室、平井小PTAの制服リサイクルバザー
東山中学校ボランティア部生徒によるバルーンアートの実演と配布
- ・運動場 開会行事及び平井小学校スマイルバンド・東山中学校プラスバンド演奏
岡山市消防音楽隊演奏、山陽学園学生によるうらじゃ踊り
平井幼稚園児・平井保育園児園児の踊り
山陽学園附属幼稚園児の竹太鼓演奏
警察車両展示、消防車両展示、防火・防犯啓発活動
各種団体啓発活動、起震車による地震体験、交通安全啓発活動
移動環境学習車体験、各種団体模擬店、学区内企業模擬店、
国土交通省啓発活動(ハザードマップ等掲示)、自衛隊の災害活動
パネル展示、お楽しみイベントなど

○感染防止対策の内容

※実施した感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

- ・岡山市地域活動等の開催における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(最新版)を確認し感染防止対策を実施します。
- ・事業実施メンバー・出展者は感染予防対策を徹底し、参加者へも感染予防対策を周知してもらう。
- ・会場内入口(3か所)で来場者への検温(非接触型)・手指消毒とマスク着用(未着用者には配布)を徹底して感染予防を実施
- ・会場内の各所に感染防止のポスターを掲示
- ・出来るだけ参加者へお願いをして参加者名簿に記入していただき、接触アプリ「COCOA」や「もしアポ岡山」活用を案内する(活用できる方にはチラシ配布)

運営スタッフ人数	116 人	来場者数	約 3,000 人
出演者人数	167 人	天候	晴

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

- ・各種団体などの代表者からなる実行委員会を組織して手作りの企画・運営を実施
- ・岡山河川事務所・中央警察・中消防等に参加してもらい、防災・防犯・交通安全・防火の啓発、指導を実施
- ・参加した各種団体は活動内容のアピールすることが出来た
- ・高齢者の方が参加しやすいよう休憩所の設置や交通安全クイズなどのイベントについて工夫をして実施できた
- ・学校園の生徒・児童の発表の場として提供する事が出来た

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

- 1 イベント会場でごみを出さないような配慮をしていただきたいです……………
- 2 飲食を伴う場合、食中毒を保証の対象とした保険の加入を検討してはいかがでしょうか。
- 3 机・椅子等は学区内の町内会から持ち寄れば……………
- 4 小学生が多く見受けられ、非常に活気あふれるイベントでした……………
- 5 地域に根差したものだと思いました。PTAなど様々な意見を聞きながら実施されようとする事はよいと思います。
- 6 危機管理に特化したイベントで関連団体との連携もあり、わかりやすい内容です。
- 7 地域にある大学・病院の協力があり、さらに巻き込んで地域づくりをお願いしたいです。
- 8 学校園の生徒・児童の発表の場となっているので、参加した生徒・児童が実行委員となること……………

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

- 1 飲食を販売の際にゴミは分別して、会場内設置のゴミ箱へと声かけを依頼でゴミは少なく、分別して回収できました。
- 2 食中毒に対する賠償責任保険には昨年に続き加入しました。
- 3 大型テントの休憩所以外の机・椅子は初回から学区内で調達しています。
- 4 子供のころから地域行事に参加して、地域のつながりを続けていきたいです。
- 5 現在、地域の全団体と学校園及び保護者が実行委員として開催していますが今後、参加者からの意見も聞きながら継続していきたいと思っています。
- 6 行政機関のご協力で、今後も楽しく防火・防災、交通安全などに関心を持っていただける内容にしていきます。
- 7 大学・病院だけでなく、現在は学区内企業の参加は1社のみですが、地域企業の増やしていきたいです。
- 8 今は、保護者から生徒・児童の話を聞いていますが今後、検討していきます。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

- ・出店の数がコロナ前に近づいてきたが、今後は地域企業の参加を増やしていきたい。
- ・今回の開催では過去最高の来場者(約 3,000 人)となり、地域行事として定着してきたが、もっと地域のことを知ってもらい、安心して暮らせる地域となる行事として継続をしていきたい。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- Ⅰ チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、
Ⅴ その他（平井小生徒作成のポスターを地域に掲示）

内 容

- ・チラシ、ポスター添付

⑥ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙して)

年 月 日	内 容
2023, 5, 23	企画会議
2023, 6, 20	企画会議
2023, 7, 25	第1回実行委員会
2023, 8, 22	第2回実行委員会
2023, 9, 19	第3回実行委員会
2023, 10, 17	第4回実行委員会(最終打ち合わせ)
2023, 10, 27	前日会場準備
2023, 10, 28	開催
2023, 10, 31	反省会
2023, 11, 28	監査
2023, 12, 8	報告会

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加予定団体等	事業運営の予定スタッフ人数
平井学区連合町内会	13
平井学区安全・安心ネットワーク	8
平井地区社会福祉協議会	3
平井学区教育振興会	5
平井学区コミュニティ協議会	3
平井地区民生委員・児童委員会	14
平井地区愛育委員会	14
平井学区シルバークラブ連合会	2
交通安全協会平井支部	10
平井学区交通安全母の会	3
平井消防分団	9
平井学区体育協会	8
平井小学校学校支援ボランティア	3
平井地区少年警察協助員会	3
平井地区保護司会	4
平井小学校スマイルバンド	11
平井小学校 PTA	23
平井幼稚園 PTA	14
平井保育園保護者会	12
山陽短期大学附属幼稚園PTA	16
東山中学校吹奏楽部	5
東山中学校ボランティア委員会	18
弘徳学園	6
キッズハウスいちご(障害者デイサービス)	7
計	214 人
24 団体	

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	顧問				連合町内会会長
2	委員長				安全・安心ネットワーク会長
3	副委員長				教育振興会会長
4	委員				湊町内会長
5	委員				コミュニティ協議会会長
6	委員				連合町内会副会長
7	委員				平井地区社協会長
8	委員				交通安全協会副支部長
9	委員				愛育委員会会長
10	委員				消防分団長
11	委員				前東山中学校PTA会長
12	委員				平井小学校PTA会長
13	委員				平井幼稚園PTA会長
14	委員				平井保育園保護者会長
15	委員				山陽幼稚園PTA会長
16	委員				平井小学校教頭
17	事務局・会計				地区民児協会会長
18	幹事				栄養改善委員会会長
19	幹事				交通安全母の会会長
20	幹事				平井幼稚園長
21	幹事				平井保育園長
22	監事				防犯協議会会長
23	監事				東山公民館長
24					
25					

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	312,500	243,800	
協賛金	192,500	179,641	連合町内会他4団体
負担金	20,000	7,000	参加者負担金
広告料			
寄附金、他収入			
収入合計	525,000	430,441	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	30,000	68,269	消火器、パイプ椅子等
②食糧費	60,000	48,384	当日の弁当、お茶代
③印刷製本費	60,000	50,050	ポスター・チラシ・資料印刷代
④燃料費		3,277	発電機用ガソリン代
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	10,000	5,481	切手、ハガキ代
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	150,000	72,150	休憩用テント・椅子リース代
⑩原材料費	20,000	0	
⑪委託料	15,000	16,500	当日、警備委託料
⑫工事請負費			
⑬報償費	30,000	69,000	出演者・MC謝礼、バルーン指導料(材料費含)
⑭保険料	50,000	40,000	当日、参加者行事保険(傷害保険)
小計(①)	425,000	373,111	
⑮新型コロナウイルス感染症防止対策経費	100,000	57,330	消毒液 カラーコーン、カラーコーンバー (入退場規制用)
小計(②)	100,000	57,330	
支出合計(①+②)	525,000	430,441	

○ 内容欄へは使用用途等を記入してください。

○ 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 6 年 / 月 19 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 サン 三 勲 カイ 会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 なり 会長 た 成 まさ 田 し 昌 士

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	三勲学区ふれあい事業(夏・冬の四世代ふれあいフェスティバル)	
事業実施区域 (小学校区)	岡山市立三勲小学校区域	
① 地域の特色	<p>※事業申込書に記入した内容について記入してください。</p> <p>三勲学区は、高齢者の割合が高くなりつつも、マンション建設等により若い年代の方も増加している地域である。市内中央部からも近く、転勤族の方も多い地域である。防犯組織も確立されており、学区内の各種団体も三勲会を中心に連携がとれている地域だと思う。学校も多くあり、地区公民館も建設され、防災キャンプの中心として、実施。地区住民の連携が今後も重要となってきている。 R5年に三勲小学校100周年を迎えるにあたり、地域での更なる連帯を目指す。</p>	
② 事業の目的・ 成果	該当事業項目に○を(複数可)	<input type="checkbox"/> ア 防犯 <input checked="" type="checkbox"/> イ 防災 <input type="checkbox"/> ウ 環境 <input checked="" type="checkbox"/> エ 支え合い <input checked="" type="checkbox"/> オ 健康 <input type="checkbox"/> カ 自然等 <input type="checkbox"/> キ 特産物等 <input type="checkbox"/> ク 人・歴史・文化等 <input checked="" type="checkbox"/> ケ その他
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。</p> <p>三勲学区の学区民(幼児から高齢者まで)の交流事業を通じての地域民のふれあい、地域をあげての青少年健全育成を目的とするもので『住んでみたい三勲学区を創ろう』を合言葉に、四季を通じた交流事業を開催し、コミュニティーの育成と地域の活性化を図る。また、将来の地域活性化をにう人材育成へ向けた礎を築く。今年度も三勲小学校の改築工事があり、1学期中使用出来ない状況となっている。今年度は三勲小学校100周年を迎える年となり、100周年関係のイベントを小学校・地域で調整し、実施する計画です。例年実施の春のフェスティバルは休止し、地域の玉井宮夏祭りとコラボした形で夏のフェスティバルを計画、冬のイベントはウォークラリー中心で計画し、三勲学区の100周年としても盛り上げていきたい。</p>		

③ 事業の内容

三勲学区ふれあい事業

◎夏の4世代納涼フェスティバル

- 1.開催日 2023年7月30日(日) 午後4時～午後9時
- 2.天候 晴れ 最高気温 35℃
- 3.来場者数 700名(スタッフ120名)
- 4.場所 岡山市東山公園
- 5.内容 ①地域学校のブラスバンド演奏②剣道スポーツの演技
③みんなの出し物④毎年変わるお楽しみイベント

例年は小学校実施でしたが、小学校工事中でもあり地域の活性化ふれあいの為に、地元の夏祭りに合わせ、より集客を図ることにより、学区活性化を目指しました。地域の学校関係及び企業に協力を依頼し、学区全体で盛り上げる企画を実施。基本的にはステージ中心ではあるが、空きスペースで三勲小学校100周年コーナー及びミニバザー、協賛企業によるキャラメルポップコーンのサービスを実施する事で、参加者にも喜んでもらえたと思う。

また、地域の学校・公民館・企業とコラボした企画により、地域活性化・将来のスタッフ募集にもつながりました。

学区の各種団体よりスタッフ募集をかけ、地域病院からも看護師に常駐してもらい安心・安全なイベントが実施出来たと思われまます。

◎冬の4世代フェスティバル

- 1.開催日 2023年12月10日(日) 午前9時～13時
- 2.天候 晴れ
- 3.来場者 300名(スタッフ50名)
- 4.場所 東山公園コミュニティ集会所前出発・ゴールで三勲学区全体全ポイントを回っても1時間あれば回れる範囲で設定
- 5.内容 モバイルスタンプラリー

例年は小学校入学前児童を中心にふれあい餅つきを実施し、小さなお子様を持つ家族に対し四季を通じたイベントのアピール及び協力者の発掘に努め、高齢者の方は裏方を中心に協力依頼し、子どもとのふれあいが出来る様実施していましたが、コロナ対策で飲食のハードルが高いため昨年同様にウォークラリーを中心にイベントを計画し、対象範囲も広げ学区の充実を図りました。

スマホ活用(LALLY)によるポイントハイクに加え、地図によるポイントハイクを実施。

学区の各種団体へも協力依頼し、危険個所と思われる所での安全確認を行い、安心してイベントに参加出来る様、配慮しました。

○感染防止対策の内容

- ① 体温測定・・・当日の朝
- ② マスク着用の推奨を図る
- ③ 間隔をあげ、密の緩和を図る
- ④ 手洗いの推奨と手指消毒液の各所設置
- ⑤ 感染対策の事前告知等により、体調の良くない参加者の不参加呼びかけ

運営スタッフ人数	170人	来場者数	1,000人
出演者人数	190人	天候	晴れ(両日とも)

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

行事实施にあたり、各種団体への協力体制確立・事業計画立案のため企画会議を数回に渡り開催し、学区民への周知徹底のための説明会・ポスター・ちらしの配布等によるPRを実施。

各種団体の協力の基、マンネ化しないように毎年、少しずつイベント内容にも工夫をこらしています。今年度は三勲小学校が100周年を迎えるため、小学校PTAにも企画協力を求め、地域の企業等にも協力を呼びかけ、実施しました。

また、小学校グラウンドが工事の為1学期中は使用できず、地域の公園利用で工夫しながら実施する事で、学区の方が気楽に参加できる様にイベント実施に努めました。

レンタル品を机・椅子・テント以外のステージ・大型スポットライト等に絞り、最低限の設備のレンタルにしている。また楽器運搬も、トラックをレンタルし自力で運搬して節約している。

ステージも様々なジャンルから出演交渉し、出演の謝礼も最低限のもので了承をもらい、毎年工夫してきています。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

提出済

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

提出済

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

Ⅰ できた

Ⅱ おおむねできた

Ⅲ 一部できなかった

Ⅳ まったくできなかった

Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

- 1.次年度は、春・夏・冬のイベントを実施する。(コロナ感染リスク低減により、従来の形にする)
- 2.春・夏は三勲小学校で、冬は餅つきについても復活させる方向で検討する。
- 3.地域の学校・公民館・企業とのコラボはもっと拡大させていく。
- 4.飲食関係についても再開する方向で検討し、参加者の休憩できるスペースも設置する方向で調整。
- 5.熱中症対策をもっと十分に実施。(日差し・水分補給・等)
- 6.小・中・高生の活躍の場(ボランティア・出演)を増加させる。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- Ⅰ チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、Ⅴ その他（地元企業等へ協力要請、学校・公民館等とのコラボ実施）

内 容

- 1 チラシは学区全世帯へ配付または学区の幼稚園・小学校・中学校・等へ必要枚数配付
ポスターは学区内の町内掲示板・幼稚園・小学校・中学校・公民館・等へ掲示
- 2 HPに掲載(三勲学区スポーツ協会)
- 3 TV、ラジオで公開する場合もあるが、各局の対応へ委ねる
イベント開催の告知は各局・新聞社へ通知
- 4 市の広報誌は締切の関係より間に合わず掲載出来ていない
- 5 地域企業・学校・公民館等へは出演・イベントスタッフ協力・協賛依頼のため訪問しチラシ等配付

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください。)

年 月 日	内 容
2023年 1月 11日	三勲会にて企画会議
2023年 1月 20日	三勲 100周年実行委員会にて企画会議
2023年 2月 8日	三勲学区スポーツ協会にて企画会議
2023年 2月 16日	操山中学校地域協働学校会議にて情報連携
2023年 2月 17日	三勲 100周年実行委員会にて企画会議
2023年 2月 24日	操山公民館運営委員会にて情報連携と出演者募集依頼
2023年 3月 8日	三勲会にて企画会議
2023年 4月 13日	三勲学区スポーツ協会にて企画会議
2023年 4月 23日	百間川フェスタにて協賛企業と協賛内容打合せ
2023年 4月 28日	三勲 100周年地域未来創造部会にて企画会議
2023年 5月 11日	三勲学区スポーツ協会にて企画会議
2023年 5月 26日	三勲 100周年実行委員会にて企画会議
2023年 5月 31日	三勲 100周年地域未来創造部会にて企画会議
2023年 6月 21日	三勲学区スポーツ協会にて企画会議
2023年 6月 23日	三勲 100周年実行委員会にて企画会議
2023年 6月 28日	三勲 100周年地域未来創造部会にて企画会議
2023年 6月 30日	操山公民館運営委員会にて情報連携と企画会議
2023年 7月 25日	三勲学区スポーツ協会にて企画会議(当日の役割)
7月	随時準備物確認及び購入
2023年 7月 26日	操山中学校地域協働学校会議にて情報連携
2023年 7月 27日	三勲 100周年地域未来創造部会にて企画会議(当日の役割)
2023年 7月 28日	三勲 100周年実行委員会にて企画会議(当日の役割)
2023年 7月 29日	前日準備
2023年 7月 30日	夏のイベント当日、気付きと振り返り
2023年 7月 31日	夏のイベントかたづけ(ステージ最終撤収)
2023年 8月 25日	三勲 100周年実行委員会にて、気付きと振り返り
2023年 9月 13日	三勲会にて、気付きと振り返り
2023年 9月 22日	三勲 100周年地域未来創造部会にて、気付きと振り返り
2023年 10月 11日	三勲学区スポーツ協会にて監査(最終監査は 2024年 4月)

冬のイベント	
2023年 9月 8日	三勲学区民生委員・児童委員協議会にて企画会議
2023年 9月 13日	三勲会にて企画会議
2023年 10月 11日	三勲学区スポーツ協会にて企画会議
2023年 10月 13日	三勲学区民生委員・児童委員協議会にて企画会議
2023年 11月 5日	準備物確認、発注、購入
2023年 11月 10日	三勲学区民生委員・児童委員協議会にて企画会議
2023年 11月 14日	三勲学区交通安全対策協議会・防犯協議会にて企画会議
2023年 11月 15日	準備物確認、発注、購入
2023年 11月 29日	準備物確認、発注、購入
2023年 12月 7日	準備物確認、発注、購入
2023年 12月 8日	三勲学区民生委員・児童委員協議会にて企画会議(当日の役割)
2023年 12月 9日	前日準備、不足分購入
2023年 12月 10日	冬のイベント当日
2024年 1月 6日	三勲学区民生委員・児童委員協議会にて、気付きと振り返り、監査
2024年 1月 10日	三勲会にて、気付きと振り返り

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
☆夏のイベント	
三勲学区連合町内会	5人
三勲地区社会福祉協議会	5人
三勲学区スポーツ協会	20人
三勲学区民生児童委員協議会	20人
三勲学区防犯協議会・交通安全対策協議会	15人
三勲学区婦人会	10人
三勲学区子ども会	10人
PTA	10人
三勲会	5人
交通安全母の会	10人
教育振興会	5人
100周年実行委員会地域未来創造部会	10人
<小計>	120人
☆冬のイベント	
三勲学区民生児童委員協議会	15人
三勲学区スポーツ協会	7人
PTA	10人
三勲学区子ども会	5人
三勲学区防犯協議会・交通安全対策協議会	10人
三勲会	3人
<小計>	50人
計	13団体
	170人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	会長				連合町内会会長
2	理事・事務				スポーツ協会会長 交対協会会長
3	理事				地区社協会会長
4	理事				婦人会会長
5	理事				防犯協議会会長
6	理事				民児協会会長
7	理事				老人クラブ会長
8	理事				子ども会会長
9	理事				教育振興会会長
10	理事				岡山市議会議員
11	理事				三勲小PTA会長
12	理事				交通母会会長
13	理事				栄養改善協会会長
14	理事・会計				愛育委員会会長
15	会計監査				社協事務局長
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

⑩ 収支決算書

収入

※合計

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	480,000	244,600	予算にはコロナ感染対策費含む
協賛金			
負担金	400,000	244,738	学区負担金
広告料			
寄附金、他収入			
収入合計	880,000	489,338	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	90,000	84,325	書道用紙、LEDライト、他
②食糧費	130,000	41,836	スタッフ当日軽食、お茶
③印刷製本費	160,000	70,971	ポスター・チラシ作成
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	17,000	6,216	案内送付用切手
⑦広告料			
⑧手数料	2,000	880	振込手数料
⑨使用料	360,000	268,510	ステージ・レンタカー・等レンタル
⑩原材料費			
⑪委託料	6,000	0	ゴミ処理代
⑫工事請負費			
⑬報償費	35,000	16,600	出演者御礼
⑭保険料			
支出合計	800,000	489,338	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和6年3月11日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ タカシマ ジョウウイインカイ
団体名 高島ふれあいとんどまつり実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ インチョウ フジタ マキ
代表者役職・氏名 委員長 藤田 真樹

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第5回高島ふれあいとんどまつり	
事業実施区域 (小学校区)	高島小学校区	
① 地域の特色	<p>近年、高島地区では土地開発による宅地化が急速に進み、若い世代が増加している。少子化が進む社会情勢の中において、児童数は増加傾向にあり、小学校校舎が増築されるという、市内でも珍しい人口動態を見せる地域である。このような高島地区の振興・発展と地域の活性化を図るためには、古くから地域の文化・歴史・自然を紡いできた住民と、新たに加わった住民との融合が不可欠となっている。</p>	
② 事業の目的・ 成果	該当事業項目に○を(複数可)	ア 防犯 <input checked="" type="radio"/> イ 防災 <input type="radio"/> ウ 環境 <input type="radio"/> エ 支え合い オ 健康 <input checked="" type="radio"/> カ 自然等 <input checked="" type="radio"/> キ 特産物等 <input checked="" type="radio"/> ク 人・歴史・文化等 <input type="radio"/> ケ その他
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。</p> <p>地域の各種団体と協働して、どの世代にもなじみのある伝統行事「とんど焼き」を、新旧住民・異年齢間のふれあいの場・交流の場とする。また、高島地区の文化・歴史・自然などの魅力を発信することで、自分たちが住む場所に愛着や誇りを持ってもらえるようにする。</p> <p>様々なブースを設けることで幅広く住民を呼び込み、催しを通して世代を超えたふれあいや交流が生まれた。高島地区の文化・歴史・自然の魅力を発信し、自分たちが住む地区の特色を知る機会となった。</p>		

③ 事業の内容

○開催日時:令和6年1月13日(土曜日) 9時30分 ~ 11時30分

○開催場所:岡山市立高島小学校運動場

○事業実施内容

※事業内容・方法・対象など、具体的な実施結果の内容について記入してください。

- ・とんど焼き
- ・雄町米についてのパネル展示、雄町米で造られたお酒の展示
- ・お飾りの歴史についてのパネル展示、お飾り見本展示、お飾り作りの実演と体験
- ・雄町の冷泉についてのパネル展示、冷泉で淹れたコーヒーのふるまい
- ・高島小児童に馴染みのあるアユモドキキャラクター“シマシマ”の顔出しパネル設置
- ・高島地域に関する学習(アユモドキ・自然)で高島小5年生児童がまとめた学習内容の展示
- ・防災学習で高島小4年生児童が作成した防災計画書の展示
- ・高島公民館での防災イベントで使った資料の展示
- ・防災意識を高める体験(避難カード制作・応急処置体験・防災ブランケット試着)
- ・防災意識啓発のための災害疑似体験(地震体験車乗車、消防車見学)
- ・昔遊びの体験(コマ・お手玉・けん玉・福笑い・ダルマおとし等)
- ・ゲーム遊び(マグネットさかなつり・新聞紙ダーツ・知育系玩具)
- ・展示ブースをまわってのクイズラリー(展示内容にちなんだクイズ)
- ・高島学区各種団体によるふるまい模擬店(豚汁・焼き芋・甘酒)
- ・大道芸の披露(どじょうすくい・傘回し・獅子舞/南京玉すだれ)

○感染防止対策の内容

※実施した感染防止対策の内容・方法などについて記入してください。

- ・入口と出口を決めて会場内を一方通行とした
- ・ふるまいブース、飲食スペース、器具を共用して遊ぶブースにはアルコール消毒液を設置した
- ・飲食スペースに除菌シートを設置した

※アルコール消毒液と除菌シートは、昨年度購入し事業中止で使用しなかったものを利用

運営スタッフ人数	142人	来場者数	約1,500人
出演者人数	0人	天候	曇り

④ 事業の実施

○企画・運営・予算などの工夫

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、実施結果の内容を反映して具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、併せて経費の節減や自主財源の確保などの取り組みや前年度からの見直しなどについて、実施結果の内容を反映して記入してください。

- ・連合町内会役員と高島小学校PTA役員を中心に組織を構成し、学区内の各団体と協働して企画運営を行った。また、実行委員以外の団体(被災地支援団体である大学生サークル、公民館で活動するカフェグループ)にも協力を仰ぎ、事業の充実を図った。
- ・過去にも行っていた高島小5年生による高島地域に関する学習(アユモドキ・自然)の展示に加え、新たに高島小4年生が防災学習で作成した防災計画書の展示も行い、子どもたちの学習成果を発表する場を設けた。
- ・子どもたちに地域社会との繋がりを持ってもらうため、当日の運営スタッフとして小中学生ボランティアを募集し参加してもらった。
- ・様々な世代が交流し一緒になって楽しめるよう、体験・参加型コンテンツを増やし充実させた。(お飾り作り体験・防災体験・災害疑似体験・昔遊び体験・ゲーム遊び・クイズラリー)
- ・来場者に全ブースを回ってもらえるように、また各種感染症への感染防止対策のために、入口と出口を決めて会場内を一方通行とした。
- ・経費削減のため、テント・長机・椅子・音響機器は高島小学校やPTAから、案内看板や三角コーンを地元住民から借用した。また、ゲームコーナーに来場した子どもたちへの景品として、過去のPTAイベント等で余っていた文具や玩具を提供した。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見等に対する取り組み

■事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

- ・新興住宅地と元農村が入り混じる地域で、小正月の風習を継承する意義ある行事です。小学校から大勢のスタッフが参加しているので、世代間の上手な引継ぎや新旧住民の交流に一役かっていると思います。
- ・宅地化が進み、若い世代の住民が増加していますが、この事業を通して異世代交流が可能となり、人間関係の構築や地域文化を知る機会になっているので、非常に良いと思います。
- ・高島学区各種団体が協力しながら情報交換もできていると思います。
- ・乳幼児親子も多いと思うので、こども園やおやこクラブなどの団体の参画や意見を聞く場などがあれば良いと思います。
- ・雨天の場合でも実施できる対策(日程の変更や規模の縮小など)を検討していただきたいです。
- ・中止にする際の周知方法を検討していただきたいです。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み、自己評価、感想等(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由、自己評価等について記入してください。)

<雨天時の対策>

- ・とんど焼きは時期が決まっている伝統行事のため日程変更は難しい。
- ・火を使うため室内ではできず、とんど焼き無しでは別の催しになってしまう。
- ・仮にとんど焼き無しで行うとしても、体育館ではスペースが足りず、飲食もできない。雨天の中、テントで展示やふるまい模擬店を行うと、運動場に足跡が残り整備が大変になるため難しい。
- ・そのため、残念だが規模の縮小ではなく雨天時は中止せざるを得ない。

<中止にする際の周知方法>

PRチラシに『荒天中止の場合は前日昼頃に小学校校門に掲示する』旨を目立つように記載。高島小学校保護者宛にはメール 74 へ連絡を計画。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑤ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

※事業実施後の反省に基づき、改善の必要がある事項等について、具体的に記入してください。そして、次年度に向けての取り組みや対応策などについて記入してください。併せて本事業の将来像や課題等についても記入してください。

- ・数年間とんどまつりの開催がなく、催しの規模や様子を経験したことのないメンバーが多かったため、前日準備と当日準備での段取りが悪く準備不足を痛感した。過去に経験したメンバーから様子を聞いてはいたが、聞くで見るとではかなり違った。今回の経験や反省を踏まえ、次年度は準備の段取りを細かく書き出して、綿密にシミュレーションする。
- ・テント設営や土嚢作りなど重労働が多く、準備に携わる人数や年齢層からするとかなり厳しかった。若手のボランティアを増やす、ボランティアが集まりやすい開催日程を考える、場合によっては一部を外注するなど、無理なく事業が継続できる方法を検討する。
- ・催しの規模に対して来場者が多く、ふるまいや体験の列に多くの人が長時間並んでいるのが気になった。整理券を発行して待つ間に展示を見てもらおうなど、来場者を分散できる対策を検討する。
- ・当日の運営スタッフとして小中学生ボランティアを募集し参加してもらったが、大人から指示を受けての手伝いという形だった。子どもたちの中でリーダーを決めて自ら考え活動できるようにする、企画の段階から参加してもらおうなど、子どもたちが地元行事に誇りをもって参加できる取り組みを少しずつ入れていきたい。
- ・行事の性格上、“とんどまつり”として雨天時に開催は難しく、中止せざるを得ない。ただ、準備してきたことが天候により無駄になることは非常に残念で、別イベントとしての開催に切り替えることはできないかなど、引き続き検討は必要と考える。

⑥ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けて、具体的な内容について記入してください。

- ① チラシを作成配布、② HPに掲載、③ 市の広報紙に掲載、④ TV、ラジオで公開、
⑤ その他（高島小学校保護者宛にメール配信）

内容

- ・当事業のPRチラシを作成し、各町内会へ回覧、高島小学校にて児童・教職員へ配布、高島公民館ロビーに備え置き
- ・高島小学校PTAホームページにチラシとコメントを掲載
- ・高島小学校保護者宛に事業の実施と内容をメール配信

⑦ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください。)

年 月 日	内 容
令和5年7月29日	区づくり推進事業審査会
令和5年9月2日	事業実施メンバー代表による打合せ会① (実施内容・役割分担の協議)
令和5年10月24日	事業実施メンバー代表による打合せ会② (実施内容の決定、会場レイアウト・予算配分の協議)
令和5年11月21日	事業実施メンバー代表による打合せ会③ (各団体進捗状況・予算見積の報告、PRチラシの確認・決定)
令和5年12月19日	事業実施メンバー代表による打合せ会④ (設営備品・人員配置の確認、最終確認)
令和6年1月6日	事業実施メンバーによるのぼり旗の設置 (事前PRのため、高島小学校フェンスに20本)
令和6年1月12日	事業実施メンバーによる事前準備 (テント設営、用具の準備等)
令和6年1月13日	第5回高島ふれあいとんどまつり開催
令和6年2月6日	事業実施メンバー代表による反省会
令和6年2月27日	会計による監査

⑧ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
JA岡山高島支所(部会含む)	15
高島学区連合町内会	21
高島学区婦人会	11
高島地区民生委員児童委員協議会	16
岡山市立高島小学校PTA	14
岡山市消防団高島分団	5
高島学区老人クラブ連合会	5
高島学区体育協会	6
高島公民館	2
高島みんなのカフェ(高島公民館で活動するカフェグループ)	6
被災地支援団体おかやまバトン(大学生サークル)	8
小中学生・保護者ボランティア(高島小学校・中学校で募集)	33
計	12団体 142人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	委員長				高島学区連合町内会 会長
2	副委員長				高島学区婦人会 会長
3	副委員長				JA岡山高島支部お飾り部会 会長
4	副委員長				JA岡山女性部高島支部
5	副委員長 (事務局長)				高島小学校PTA 会長
6	幹事				高島地区民生委員児童委員協議会 会長
7	委員				高島小学校 校長
8	委員				高島小学校 教頭
9	委員				高島小学校 教頭
10	委員				JA岡山高島支所 所長
11	委員				高島学区連合町内会
12	委員				高島学区連合町内会
13	委員				高島学区連合町内会
14	委員				高島学区連合町内会
15	委員				高島学区連合町内会
16	委員				岡山市消防団高島分団 分団長
17	委員				高島学区老人クラブ連合会 会長
18	委員				高島学区体育協会 会長
19	委員				高島小学校PTA
20	委員				高島小学校PTA
21	委員				高島小学校PTA
22	委員				高島小学校PTA
23	委員				高島小学校PTA
24	委員				高島小学校PTA
25	委員				高島小学校PTA
26	委員				高島小学校PTA
27	委員				高島小学校PTA
28	委員				高島小学校PTA
29	委員				高島公民館 館長

⑩ 収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	139,000	70,100	
協賛金	0	0	
負担金	79,000	40,226	実行委員会団体
広告料	0	0	
寄附金、他収入	30,000	30,000	地域企業
収入合計	248,000	140,326	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	70,000	38,315	展示用品、遊び道具、のぼり等
②食糧費	1,000	0	
③印刷製本費	22,000	17,047	PRチラシ・顔出しパネル・案内図印刷
④燃料費	0	13,195	ガス代
⑤光熱水費	0		
⑥通信運搬費	10,000	8,112	切手
⑦広告料	0		
⑧手数料	0		
⑨使用料	0	0	
⑩原材料費	100,000	48,833	コーヒー・豚汁・焼き芋・甘酒材料
⑪委託料	10,000	10,000	PRチラシ・顔出しパネルデザイン料
⑫工事請負費	0		
⑬報償費	0	0	
⑭保険料	5,000	4,824	イベント共済掛金
小計(①)	218,000	140,326	
⑮新型コロナウイルス感染症防止対策経費	30,000	0	
小計(②)	30,000	0	
支出合計(①+②)	248,000	140,326	

○ 内容欄へは使用用途等を記入してください。

○ 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 6 年 4 月 19 日

岡山市長 大森 雅夫 様

ヒライガックチイキヅクリカイギ
フリダナ 団体名 平井学区地域づくり会議
 所在地 XXXXXXXXXX
 連絡先 XXXXXXXXXX
フリダナ 代表者役職・氏名 サス 議長 カスガ 那須 和夫

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input checked="" type="radio"/> イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	地域づくり会議の運営と事業展開
事業実施区域 (小学校区)	平井小学校区
① 事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対策事業「オレンジカフェひらい」は、年間10回開催出来ました。 ・地域の子供達の居場所づくりとして行っている「プレイパーク」は、4月、11月と年2回成徳学校の森で開催しました。「ひらい子どもフェスタ」もコミュニティハウスにて4年ぶりに復活開催出来ました。 ・山陽学園大学・旭東病院と行ってきた「健康チェック」は予定通り年2回開催出来ました。 ・旭東病院の協力により「認知症サポーター養成講座」は、年1回開催出来ました。 ・「旭川クリーン作戦」も9月に開催しました。 ・定例会議も予定通り4回開催出来ました。
② 解決を目指した課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対策事業「オレンジカフェひらい」の開催により、高齢者の認知症予防課題の解決を図りました。 ・「プレイパーク」の開催により減少している子供たちの居場所づくりの課題解消を目指しました。「ひらい子どもフェスタ」も復活開催出来ました。 ・「健康チェック」は予定通り年2回開催し、平井学区の住民の健康維持に貢献出来ました。 ・「認知症サポーター養成講座」は1回開催し認知症に対する理解ある住民を増やしています。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③ 目的・目標の達成状況</p>	<p>事業の目的</p> <p>地域づくり会議は、地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、課題解決に向けた話し合いや方向付け、支援体制等を総合的に調整し推進することにより地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指すことを目的としました。</p> <p>目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防対策事業として立ち上げた「オレンジカフェひらい」は、毎月の開催を続けてきましたが、令和5年度は年間10回開催しました。 平均参加人数は、毎回約20名程度でコロナ以前より3割程度減少しました。 ・子供たちの居場所づくりの一環として開催している「プレイパーク」は、年2回開催してきましたが、令和5年度も4月・11月に開催することができました。 参加人数は、約120名程度と盛況でした。 「ひらい子どもフェスタ」も2月復活開催出来ました。 ・山陽学園大学・旭東病院共催で行っている「健康チェック」は、予定通り年2回開催できました。 ・旭東病院の協力により、認知症の方に優しい地域を目指して「認知症サポーター養成講座」は年1回開催出来ました。 ・災害時に必要と思われる「緊急用ホイッスル」を製作し、必要な方に配布しました。 ・年4回開催している「定例会」も4回開催出来ました。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連合町内会役員のみならず、地域の各種団体から推薦された団体代表によって構成する会議体を組織し、会議運営を行っています。 ・立ち上げ時のメンバーは25名でしたが、その後メンバー等の都合もあり交代及び増員（学校園PTA役員等）により、現在28名で運営しています。 ・効率的な会議運営を行うため、専門部会（プロジェクトチーム）を立ち上げ運営しています ・平井学区連合町内会が発信している平井学区ホームページ「平井学区電子町内会」に地域づくり会議の活動内容や会議の様子を掲載し、学区内外への情報発信とPRを行っています。

<p>⑤ 次年度計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月一回開催している「オレンジカフェひらい」は、安全に配慮しつつ極力続けていきます。 ・子供たちの居場所づくりとして行っている「プレイパーク」も年2回開催予定です。「ひらい子どもフェスタ」も開催したいと思っています。 ・年2回開催の「健康チェック」も地域のもっと大勢の方々に受けていただけるよう改善していきます。 ・「認知症サポーター養成講座」も引き続き年1回開催を目指します。 ・「旭川クリーン作戦」も開催したいと考えています ・新しい試みとして、中学生や高校生を中心に自分たちが住む地域の事をもっとよく知り、主体性をもって地域活動に参加できるSDGsプロジェクトを立ち上げ「プレイパーク」等にボランティアで参加してもらいました。 ・急な災害時に対応できる地域の事情に沿った「防災マップ」の発行に向けて再度検討を開始します 		
<p>⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>「オレンジカフェひらい」は、年間10回開催しました 「プレイパーク」は年2回開催出来ました。「ひらい子どもフェスタ」も再開できました。 「健康チェック」は、予定通り年2回の開催ができました。 「認知症サポーター養成講座」については、1回開催出来ました。</p>		
	<p>○事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域の課題が明確で、子どもから大人まで活発であり非常に評価できます。 2 プレイパーク、ひらい子どもフェスタに参加した親子に次のボランティアを依頼してみてもはどうでしょうか。 3 地域住民、大学、病院を巻き込んで組織的に運営してほしいです。 4 防災マップを作製することは地域にとって有意義なものだと思います。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等 （右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。）</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1 ご評価いただきありがとうございます。 2 中、高生中心に主体性を持ったSDGs活動を広げていきます。 3 参加しやすい活動のためのチラシの工夫、参加者への呼びかけ等検討してまいります。 4 防災マップについては、再度検討を進めていきます。 </td> <td style="width: 40%; vertical-align: top; border-left: 1px dashed black; padding-left: 10px;"> <p>助言等の内容について、事業へ反映できましたか。</p> <p>Ⅰ できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p> </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> 1 ご評価いただきありがとうございます。 2 中、高生中心に主体性を持ったSDGs活動を広げていきます。 3 参加しやすい活動のためのチラシの工夫、参加者への呼びかけ等検討してまいります。 4 防災マップについては、再度検討を進めていきます。 	<p>助言等の内容について、事業へ反映できましたか。</p> <p>Ⅰ できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1 ご評価いただきありがとうございます。 2 中、高生中心に主体性を持ったSDGs活動を広げていきます。 3 参加しやすい活動のためのチラシの工夫、参加者への呼びかけ等検討してまいります。 4 防災マップについては、再度検討を進めていきます。 	<p>助言等の内容について、事業へ反映できましたか。</p> <p>Ⅰ できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p>		

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
山陽学園大学・山陽学園短期大学	定例会参加・アドバイザー
岡山市中区地域包括支援センター	同上
岡山市社会福祉協議会 中区事務所	同上
岡山市中区保健センター	同上
岡山市ふれあい介護予防センター	同上
岡山市 市民協働局 市民協働企画総務課 地域担当職員	会議開催企画・運営・実行支援
平井学区 安全・安心ネットワーク	定例会および専門部会参加等
平井地区民生委員・児童委員協議会	同上
平井地区社会福祉協議会	同上
平井学区愛育委員会	同上
平井学区防犯協議会	同上
平井学区交通安全対策協議会	同上
交通安全協会平井支部	同上
平井学区交通安全母の会	同上
平井学区コミュニティ協議会	同上
平井消防分団	同上
平井学区シルバークラブ連合会	同上
平井学区電子町内会ホームページ委員会	同上 地域づくり協議会の活動取材等

⑧事業実施経過

4月15日	「オレンジカフェひらい」 開催
4月23日	「プレイパーク」 開催
5月20日	「オレンジカフェひらい」 開催
6月 6日	第32回定例会 開催
6月17日	「オレンジカフェひらい」 開催
7月15日	「オレンジカフェひらい」 開催
8月	「オレンジカフェひらい」 開催中止
9月 4日 5日	山陽学園大学・旭東病院共催 「健康チェック」 開催
9月 5日	第33回定例会 開催
9月10日	「旭川クリーン作戦」 開催
9月16日	「オレンジカフェひらい」 開催
10月21日	「オレンジカフェひらい」 開催
11月 3日	成徳学校裏山にて「プレイパーク」 開催
11月18日	「オレンジカフェひらい」 開催
12月 5日	第34回定例会 開催
12月11日	「オレンジカフェひらい」 開催
1月11日	「認知症サポーター養成講座開催」 開催
1月	「オレンジカフェひらい」 開催中止
1月28日	平井コミュニティハウスにて「ひらい子どもフェスタ」 開催
2月17日	「オレンジカフェひらい」 開催
3月 5日	第35回定例会 開催
3月18日	「オレンジカフェひらい」 開催
3月26日 27日	山陽学園大学・旭東病院共催 「健康チェック」 開催
3月31日	会計報告・反省会

⑨事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	議長				連合町内会長
2	副議長				安全・安心ネット ワーク会長
3	事務局長				防犯協議会会長
4	会計				湊町内会会長
5	会計監査				シルバークラブ連 合会会長
6	常任委員				連合町内会副会長
7	〃				連合町内会副会長
8	〃				川東町内会長
9	〃				元川東町内会長
10	〃				元北川町内会会長
11	〃				元北川町内会会長
12	会計監査				社会福祉協議会会 長
13	常任委員				愛育委員会会長
14	〃				愛育委員会副会長
15	〃				連合町内会
16	〃				交通安全協会平井 支部長
17	〃				交通安全母の会会 長
18	〃				すみれ町内会会長
19	〃				山陽学園大学地域連 携推進センター参事
20	〃				新町町内会会長
21	〃				平井消防分団長
22	〃				平井上町町内会長
23	〃				電子町内会委員会

24	//		オレンジカフェ ひらい
25	//		平井スポーツ協会 会長
26	//		平井小学校PTA会 長
27	//		平井幼稚園PTA会 長
28	//		平井保育園保護者 会会長

⑩ 収支決算書

収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	290,000	141,900	/
実施団体負担金	190,000	141,978	連合町内会負担金
参加者負担金			
協賛金			
寄附金、他収入			
収入合計	480,000	283,878	//

支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容(必ず記載してください)
①消耗品費	100,000	76,728	事務用品(コピー用紙、インク、ホイッスル他)
②食糧費	60,000	43,794	会議用お茶代、プレイパーク用資材
③印刷製本費	120,000	38,654	会議資料、プレイパークチラシ、IDカード印刷代
④燃料費	0	0	
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	30,000	16,294	切手、はがき代、郵便料金
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	0	880	振込手数料
⑨使用料	0	0	
⑩原材料費	0	0	
⑪委託料	0	50,000	映画上演料他
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	50,000	50,000	ボーイスカウト支援謝礼、各種講演謝礼
⑭保険料	20,000	7,528	プレイパーク障害保険料
⑮旅費	0	0	
小計(①)	380,000	283,878	補助率1/2
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費	100,000	0	
小計(②)	100,000	0	
支出合計(①+②)	480,000	283,878	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 6 年 4 月 19 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ トミヤマガクケンシヨウチホクイ
団体名 富山学区自主防災会

所在地

連絡先

フリガナ コハシ 一郎
代表者役職・氏名 会長 小橋 一郎

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他
事業名	地域防災力の向上
事業実施区域 (小学校区)	富山小学校区
①事業実施内容・感染防止対策の内容	<p>※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。 ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。</p> <p>(1) 防災専用回覧板、とみやま防災だより 令和5年9月防災専用で回覧を回せるよう専用の回覧用バインダーを、回覧単位である全ての組・班(学区内で350)に配布した。 合わせて、「とみやま防災だより」第3号(火災)を発行、全戸配布した。</p> <p>(2) 避難所開設訓練(兼避難所生活体験) 令和5年9月31日 地域防災リーダー養成講座「HUG」富山公民館と共催 51名 令和5年10月22日 避難所開設訓練(兼避難所生活体験)富山中学校 130名</p> <p>(3) 単位町内会との連携 ※「④企画等の工夫と情報公開」欄に記載 目的: 自主防災会の活動内容の周知、単位町内会のニーズの把握 ①自主防災会運営委員会へのオブザーバー招聘 5回、20町内会 ②防災懇談会の開催 2回、6町内会</p> <p>※実施した感染防止対策の内容・方法などについて記入してください。 ・アルコール消毒 ・マスク着用</p>

② 解決を目指した課題

- 操山山系では、土砂災害警戒区域が多数指定されており、土砂くずれなど人命にかかわる災害が想定される
 - 避難所開設の実績が乏しく、地域での避難誘導・避難所自主運営のノウハウがほとんどない
 - 高齢化率は岡山市の平均を上回り、災害時に自力では行動できない要配慮者への支援体制が不可欠
- ～ 逃げ遅れによる災害犠牲者を出さない ～
- ・ 警戒レベル4「避難指示」で「危険な場所」から「全員」「直ちに」「立退き避難」することの周知
 - ・ 避難情報発令後の速やかな避難所開設（速やかに避難者受入れる）
 - ・ 全世帯向けに向けて素早く声かけ、誘導
 - ・ 要配慮者の事情に沿った適切な支援

③目的・目標の達成状況

ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況
 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等
 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等
 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況
 オ その他⇒定めた目標の達成状況
 など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。

(1) 防災専用回覧板による防災行動の周知

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・防災専用で回覧を回せるよう専用の回覧用バインダーを、回覧単位である全ての組・班（学区内で350）に配布する ・「とみやま防災だより」年2回発行、全戸配布 ・専用回覧版による防災情報の周知、年2回回覧
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・9月「とみやま防災だより」第3号（火災）発行、全戸配布 ・合わせて専用回覧版用バインダーの組・班への配布、専用回覧版による防災だより発行の告知、10月開催の防災訓練の告知
今後	<ul style="list-style-type: none"> ・「とみやま防災だより」年2回発行 ・「とみやま防災だより」および専用回覧版による防災情報の周知

(2) 避難所開設支援要員の見直し

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学区内各種団体から避難所開設支援要員を募り、説明会・机上訓練を経て、令和6年2月の避難所開設訓練に臨む
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設についての研修として、富山公民館との共催で地域防災リーダー養成講座「HUGを体験してみよう」を実施（令和5年9月3日） ・避難所開設訓練は、会場手配の都合により令和5年10月22日 ・避難所開設支援要員は、会場である富山中学校近隣の町内会より招集
今後	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設支援要員の体制づくりも大事だが、避難所開設作業の疑似体験者を継続的に増やすことも有益と判断し、避難所開設訓練を毎年継続し、その参加者を広く求めることとする

(3) 要配慮者向けの避難所の確保

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者の避難生活に向いていると思われる富山公民館を「福祉的避難所」と位置付け、要配慮者が安心して健やかに避難生活を過ごすことを目指す ・富山公民館に避難する住民を事前登録制とする
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・事前登録制は時期尚早、富山公民館を「福祉的避難所」と位置付けことをまず周知することが重要と判断した
今後	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館より避難生活環境が良い富山公民館に、我も我もと殺到することがないように、様々な手段で周知する

<p style="writing-mode: vertical-rl;">④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<p>※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。</p> <p>自主防災会の活動内容の周知、単位町内会のニーズの把握を目的として、次のとおり工夫した。</p> <p>①自主防災会運営委員会に単位町内会をオブザーバーとして招聘 2ヶ月に1回開催する自主防災会運営委員会に、単位町内会をオブザーバーとして招聘。 5回の運営委員会に、計20単位町内会参加</p> <p>②地域ごとに防災懇談会の開催 隣接する複数の単位町内会の役員・防災担当者等との意見交換を通して、自主防災会の活動内容の周知、単位町内会のニーズの把握 令和5年11月19日 海吉出村・海吉中村・海吉本村町内会 令和5年12月3日 福泊・福泊川東・海吉福吉町内会</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">⑤ 次年度計画</p>	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <p>(1) 「命を守る」防災活動の周知 「命を守る」ことが防災活動において優先すべきことを、様々な手段で周知する ・防災だよりの発行 ・岡山市危機管理室出前講座のカスタマイズ</p> <p>(2) 防災懇談会の開催 自主防災会の活動内容の周知、単位町内会のニーズの把握</p> <p>(3) 避難所開設訓練、避難所生活体験を目的とした防災訓練の継続 避難所開設訓練、避難所生活体験の経験者を増やすことを目的とする 避難所運営にあたっては、何が起こるかわからない、深く熟練・精通することより、広く浅く多くの人が疑似体験することが、災害発生時に有用と思われる</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">審査会での助言及び意見を踏</p>	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。</p> <p>防災活動は人命にかかわるものであり、実効性が伴わない形だけの活動では意味がない。 災害による犠牲者を出さないことを目指したここ数年の試行錯誤により、重視すべき取り組みやその実現のため手法などが、おぼろげながら見えて来た段階であり、課題解決・人づくりはまだ不十分である。 今後の取り組みで、課題解決・人づくりに寄与することを目指す。</p>

<p>○事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災という住民の中でもリテラシーに差がある事業へ取り組む姿勢が素晴らしいと思いました。 ・地域の特性を理解したうえでの防災体制が考えられており、良いと思います。コロナ禍で、開催の困難なイベントもあると思いますが、災害はコロナに関係なく起こるので、コロナ対策を実施したうえで、続けてほしい活動です。 ・災害用の回覧板を使うことで、情報を確実に周知させるための工夫がなされていると思います。 ・防災はより若い人にイニシアティブをとって参加してもらおうとより安全です。高校生や大学生も運営に参加してもらえようように期待します。 ・富山学区住民の方は小学校、中学校、公民館の所在地は把握されていますか。 	
<p>○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等 （右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。）</p> <p>防災に関する課題が多岐にわたり、個人ごとに関心ごとが異なり、リテラシーに差がでていると思われる。</p> <p>昨今の災害発生時のテレビ報道では、「命を守るための行動」を強く促しているが、「命を守る」が浸透しているとは言い難い。</p> <p>今後の活動では、「命を守る」を最優先に個々人が防災に取り組むよう、広報・啓発活動に注力したい。</p>	<p>助言等の内容について、事業へ反映できましたか。</p> <p>Ⅰ できた Ⅱ おおむねできた ③ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p>

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
富山中学校	防災訓練(避難所開設)
富山公民館	地域防災リーダー養成講座
富山学区学校施設開放運営委員会	防災訓練(避難所開設)
岡山市 中消防署	防災だより(火災)
岡山市 危機管理室、会計課	防災訓練(避難所開設)

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
令和4年4月1日	避難所運営部会
令和4年4月8日	避難計画部会
令和4年5月13日	避難計画部会、広報部会
令和5年5月20日	自主防災会運営委員会
令和5年6月3日	避難所運営部会
令和5年6月24日	避難計画部会
令和5年7月1日	避難所運営部会
令和5年7月8日	広報部会
令和5年7月15日	自主防災会運営委員会
令和5年8月5日	避難所運営部会
令和5年8月8日	広報部会
令和5年8月27日	避難所運営部会
令和5年9月3日	地域防災リーダー養成講座「HUG を体験してみよう」 富山公民館との共催、参加者51名
令和5年9月16日	自主防災会運営委員会
令和5年9月下旬	①防災だより第3号発行、学区全戸配布 テーマ:火災 ②各町内会に防災専用回覧板用バインダーを配布
令和5年10月14日	避難計画部会
令和5年10月22日	令和5年度富山学区防災訓練、富山中学校 参加者130名 避難所開設訓練、避難所生活体験
令和5年11月4日	避難所運営部会
令和5年11月18日	自主防災会運営委員会
令和5年11月19日	防災懇談会(海吉出村・海吉中村・海吉本村町内会)
令和5年12月3日	防災懇談会(福泊・福泊川東・海吉福吉町内会)
令和6年1月20日	自主防災会運営委員会
令和6年3月17日	自主防災会運営委員会

⑨事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	会 長				連合町内会会長
2	運営委員長				福泊川東町内会 会長、防災士
3	運営委員				元海吉出村町内 会長、防災士
4	運営委員				老人クラブ連合 会元会長
5	運営委員				安全・安心ネッ トワーク事務局 長
6	運営委員				電子町内会運営 委員長
7	運営委員				民児協会長
8	運営委員				地区社協 会計 民児協副会長
9	運営委員				民児協 監事
10	運営委員				民児協 委員
11	運営委員				民児協 主任児 童委員
12	運営委員				円山宮西町内会 庶務次長
13	運営委員				海吉本村町内会 防災担当副会長
14	運営委員				福泊町内会
15	運営委員				山崎本町町内会 会長
16	運営委員				円山浜倉南円山
17	監 事				連合町内会監事
18	監 事				連合町内会監事
19					
20					

⑩収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	123,700	67,200	✓
実施団体負担金	103,800	67,251	✓
参加者負担金			
協賛金			
寄附金、他収入			
収入合計	227,500	134,451	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	117,500	96,842	事務用品(コピー用紙、回覧版用バインダー)
②食糧費		4,273	運営委員会時飲料
③印刷製本費	84,000	27,372	資料印刷代
④燃料費			
⑤光熱水費	2,000	2,100	コミュニティハウスエアコン代
⑥通信運搬費	4,000	1,300	防災だより配達料
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費		2,564	R5.9.3HUG外部講師謝礼菓子
⑭保険料			
⑮旅費			
小計(①)	207,500	134,451	✓
⑯新型コロナウイルス 感染防止対策経費	20,000	0	
小計(②)	20,000	0	
支出合計(①+②)	227,500	134,451	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 6年 4月 16日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 とみやま助け合い隊

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 理事長 小橋 一郎

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>とみやま助け合い隊</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>富山</p>
<p>①事業実施内容・感染防止対策の内容</p>	<p>※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。 地域住民の抱える日常生活の困りごと解決を目的として、下記システムを構築、学区住民に活用を呼び掛けている。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[困りごと支援・依頼者] -- ① --> B[コーディネーター 080-3051-0111] B -- ② --> C[サポーター (事前登録済み)] C -- ③ --> A A -- ④ --> C C -- ⑤ --> B </pre> </div> <p>(説明) ①困りごと支援・依頼者 → コーディネーターにTEL ②コーディネーター→ サポーターを斡旋 ③サポーター → 支援を実施 ④依頼者 → サポート料を支払う ⑤サポーター → 支援終了時に、支援内容・時間・料金等を報告</p> <p>★ 特殊な技術を要するもの、危険を伴う作業は対象外 ★ 有料・・・基本料金30分まで300円、以後10分増すごとに100円追加(一人につき) ★ 屋内作業・・・原則2人体制で行う。</p> <p>※実施した感染防止対策の内容・方法などについて記入してください。 ● 新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、マスク着用はサポーターの意志に任せる。 ● 発熱などの症状がある場合にはサポートの中止・延期をする。</p>

<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>当システムの目的は、地域住民の抱える日常生活上の困りごとを地域住民のサポートにより解決することである。これにより、住民は住み慣れたこの町でいつまでも住み続けることができる。</p> <p>高齢化率の上昇に伴い一人暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯が増加している。</p> <p>地域には、身体の不自由な住民もいる。誰かのサポートなくしては、日常生活が成り立たないが、介護保険でカバーしきれない部分もある。</p> <p>若い世代では、共働き世帯が増えている。子育ての上に老親の世話が重なると状況によっては、勤務に支障が生じることもある。</p>
<p>③ 目的・目標の達成状況</p>	<p>ア：支援件数・・目標 400件 実績（令和6年3月末 1年） 合計344件 種類別件数は下記のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭の手入れ(草取り、剪定) 30件 ・付添(買い物、通院) 55件 ・買い物代行 3件 ・ゴミ出し30件 ・資源化物出し 4件 ・掃除、片付け 1件 ・修理 2件 ・配布物 190件 ・その他 29件 <p style="text-align: right;">合計 344件</p> <p>イ：サポーター登録・・目標55名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年3月末現在 45名登録 辞任1(体調不良) ・学区内での住民同士の助け合いであるが、サポーターの高齢化が進んでおり、若年層のサポーター発掘が急務である。 <p>ウ：あたらしい課題・・支援ニーズの発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネを通じての依頼が増加している。 ・チラシを作成し、民生委員の会合で説明・配布した。 <p>今後も各種団体の会合などで説明と配付する予定。</p>

④ 企画等の工夫と情報公開	<p>※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。</p> <p>ア：サポーターの増員について、町内会長会議の席上、協力を要請した。 人材発掘に協力してくれているが、増員にはつながっていない。</p> <p>イ：A4 チラシを作成し、依頼数増加を期待している。 ・ 民生委員の会合にて説明・チラシを配布した。その他の団体でも同様に行う予定。 ・ 高齢者はチラシのみ配布するよりも、身近な民生委員からの紹介があるほうが依頼しやすいのではないか。</p> <p>ウ：「とみやま助け合い隊活動ニュース」について、見直しをした。 小地域ケア会議において「とみやま助け合い隊委員会」を発足し、問題点などを発掘。 1年1回の発行ではなく、年に3回程度の発行にし、サイズをA3からA4に変更する。 より多く地域住民が目にすることで、依頼者増加を期待する。 また、サポーター増加への足掛かりとなることも期待する。</p>
⑤ 次年度計画	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <p>ア・支援実績 目標 400件（+60件）</p> <p>イ・サポーター増員 目標 50名（+5名） ・ チラシ配布時に、個別に学区主要団体に紹介を要請する。</p> <p>エ・支援ニーズの発掘 ・ ケアマネとの連携強化 出来るだけ早くケアマネとの交流会を開催する。 (ケアマネのリストを入手済み) 高齢者のニーズの中には、介護保険では対応できない（対象外）ものもあり、その部分について助け合い隊のサポートが可能ではないかと考えている。</p> <p>・ 民生委員との連携 地域の実情に精通している民生委員との連携は、案件の発掘や新規メニューの開拓にも有効である。</p>

※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。

当システムは、地域住民がかかえる日常生活上の困りごと解決の手段として、着実に定着している。

ア・住民がかかえる困りごとを住民が支援することにより、誰もが住みなれたこの町でいつまでも住み続けることができる。

→ 住民は、人間関係の有無に関係なく、気軽に支援を要請できるし、お礼などに気を使う必要もない。

★かつてのような「向こう3軒・両隣」的な連帯感は、もはや存在しない。

イ・まちづくりに貢献している。

まちは、住民がつくる。住民の誰しもが持つ「やさしさ」と「素直さ」のコラボが随所に見られる！ そのような「富山」を作りたい。

当システムは、サポーターに「やさしさ＝支援」の表現機会を、支援依頼者に「素直さ＝感謝」の表現機会を提供している。

サポーターも支援依頼者も、ともにまちづくりへの参加者である。

○事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）

提出済み

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等（右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。）

提出済み

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- ③ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
富山学区連合町内会	運営(理事長) 広報(助け合い隊ニュース配布に協力) サポーター発掘
富山学区電子町内会	広報
富山学区自治振興会	運営(補助金5万円受領)
富山地区社会福祉協議会	運営(理事) 広報
富山学区愛育委員会	運営 (事務局、コーディネーター、会計)、 広報 とみやま助け合い隊活動ニュース編集
富山学区婦人会	運営(理事、コーディネーター) 広報
富山学区老人クラブ連合会	運営(理事) 広報
身体障害者福祉連合会 富山地区会	運営(理事)
富山学区栄養改善協議会	運営(理事、コーディネーター)、広報 サポーター紹介
富山地区民生委員児童委員協議会	運営(理事、コーディネーター) サポーター紹介、 広報
特別養護老人ホーム 恵風荘	ケアマネージャーが担当先に支援を勧奨、 案件紹介
オレンジカフェ 青春	広報(定例会で説明機会を提供)
岡山市立富山公民館	運営(サポーター用グッズ預かり)
岡山市社会福祉協議会	企画、広報(助け合い隊の活動を紹介)
岡山市中区保健センター	企画
岡山市介護予防センター	企画

⑧事業実施経過（令和5年度）

月 日	活動内容
4月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会 ・コーディネーター会議
5月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・助け合い隊委員会
6月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会兼総会（令和4年度会計報告・令和5年予算・活動計画などを審議） ・コーディネーター会議
7月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・助け合い隊委員 ・コーディネーター会議
8月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会 ・コーディネーター会議
9月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・助け合い隊委員 ・コーディネーター会議
10月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会 ・コーディネーター会議
11月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター会議
12月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会 ・コーディネーター会議
1月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター会議
2月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会 ・コーディネーター会議
3月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・事務引継ぎ ・コーディネーター会議

⑨事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	理事長				富山学区連合町内会 会長 富山学区安全・安心ネットワー ク協議会 会長、 富山地区社会福祉協議会 会 長
2	理事				福泊川東町内会 会長 富山学区自主防災会 実行委員長
3	理事				操陽南山町内会 会長、
4	理事				円山嶽町内会 会長
5	理事				富山地区社会福祉協議会 事務局長
6	理事				海吉本村町内会長
7	理事				富山学区連合町内会副会長 総務 本村お茶飲み会代表
8	理事、会計 事務局長 コーディネ ーター				富山学区愛育委員会 会長
9	理事				元・富山地区民生委員児童委 員協議会 会長
10	理事 コーディネ ーター				富山地区民生委員児童委員 協議会 会長
11	理事 コーディネ ーター				富山学区愛育委員会 副会長
12	理事 コーディネ ーター				富山学区婦人会 会長
13	理事 コーディネ ーター				元・民生委員児童委員
14	理事				元・民生委員児童委員
15	理事				身体障害者福祉連合会 富山地区会長
16	理事				富山学区老人クラブ連合会 会長 円山境内松風会会長
17	理事				富山エコクラブ代表、 富山学区連合町内会 総務
18	監事				富山学区連合町内会 監事
19	監事				富山学区連合町内会 監事

⑩収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	65,800	38,000	
実施団体負担金	0	0	
参加者負担金	0	0	
協賛金	20,000	0	
寄附金、他収入	0	8,127	
自治振興会補助	50,000	30,000	
収入合計	135,800	76,127	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	22,000	52,812	費目別支出金額明細表①参照
②食糧費	5,000	0	
③印刷製本費	50,000	6,251	費目別支出金額明細表③参照
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	55,000	6,844	費目別支出金額明細表⑥参照
⑦広告料			
⑧手数料	500	220	費目別支出金額明細表⑧参照
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料		10,000	費目別支出金額明細表⑪参照
⑫工事請負費			
⑬報償費	20,000	0	
⑭保険料	30,000	0	
⑮旅費			
小計(①)	182,500	76,127	
⑯新型コロナウイルス感染症防止対策経費			
小計(②)	0	0	
支出合計(①+②)	182,500	76,127	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(地域活動部門)

令和6年4月19日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ

団体名 旭竜学区支え合い推進協議会

所在地

連絡先

フリガナ

ヤシロ タケトシ

代表者氏名 会長 八代 武利

<p>応募分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください。)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ア 地域課題解決 <input type="checkbox"/> イ 地域課題掘り起し</p> <p><input type="checkbox"/> ウ 地域計画づくり</p> <p><input type="checkbox"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="checkbox"/> オ その他</p>
<p>事業名称</p>	<p>旭竜助け合い隊推進事業</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>旭竜学区</p>
<p>① 事業実施内容・感染防止対策の内容</p>	<p>(事業実施内容)</p> <p>学区内の高齢者が、日常生活の中で困っていることや不便だと感じていることをサポートした。</p> <p>① 病院付き添い、② 買い物代行、③ 買い物同行、④ ごみ出し、⑤ 草取り、⑥ 家事手伝い、⑦ 庭の片付け、⑧ 庭木の剪定など</p> <p>(実施した感染防止対策)</p> <p>(1) 室内での家事手伝い、病院付添など、密着するサポートについては、マスクを着用した。</p> <p>(2) 会議ではマスクを着用した。</p>

② 解決を 目指し た課題	<p>(1) 高齢者の日常生活における困りごとの解消</p> <p>(2) 高齢者の安否確認</p> <p>(3) 介護保険制度の補完</p> <p>(4) ボランティア精神の涵養</p> <p>(5) ボランティア活動による生きがいの発見と認知症の予防</p>
③ 目的・ 目標の 達成状況	<p>(1) 令和5年4月1日から令和5年3月31日までに1,808件のサポートを行い、高齢者の困りごとの解消にかなりの成果を上げることができた。</p> <p>(2) 当制度を利用する人は、70歳代、80歳代、90歳代と高齢者が多い。その人たちの安否確認に繋がっている。異常があれば、地域包括センター、民生委員に連絡している。</p> <p>(3) 介護認定を受けていない人でも利用できることで、同制度を補完できている。</p> <p>(4) サポーターが現在26名いるが、ボランティア活動できることに喜びを感じている。</p> <p>(5) サポートを受けた人から非常に感謝されており、そのことがサポーターの生き甲斐になり、高齢サポーターの認知症予防にもなっている。</p>
④ 企画等 の工夫 と情報 公開	<p>(企画等の工夫)</p> <p>(1) 制度の周知 年度内2回の広報紙発行(令和5年11月、令和6年3月)</p> <p>(2) 研修会の開催 助け合い隊隊員及び支え合い推進協議会委員を対象に研修を開催した。 (令和5年11月25日、テーマ「認知症について」)</p> <p>(情報公開)</p> <p>(1) 令和4年度岡山市支え合い活動事例集への掲載(令和4年7月。岡山市・岡山市社会福祉協議会発行)</p> <p>(2) 広報紙の発行(上記のとおり)</p>
⑤ 次年度 計画	<p>地域で評価されているので、当事業を継続する。</p> <p>(1) 現在のコーディネーターは4名であるが、新年度は5名にしたい。</p> <p>(2) 現在のサポーターは26名であるが、新年度は30名にしたい。</p>
⑥ 事業実	<p>(事業実施者の評価・感想)</p> <p>令和5年度は、出勤回数も非常に多くなり、当事業が大きな成果と上げていると実感している。</p> <p>持続可能性をいう観点からは、コーディネーター4名も75歳以上の高齢者で、</p>

施者の評価・感想、審査会での言及及び意見を踏まえた改善	中心的な実動隊員も70歳以上の隊員が多く課題である。	
	○ 事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容） 別紙のとおり	
	○ 上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等 （左記のⅠ～Ⅴの該当部分を○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。） 令和5年度（後期）・旭竜助け合い隊のサポート実績のとおり	助言等の内容について、事業へ反映できましたか。 Ⅰ できた Ⅱ <input checked="" type="radio"/> おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった

⑦ 事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
旭竜地区民生委員・児童委員協議会	サポーターとしての参加。ケースの相談
社会福祉法人 昭友会	介護相談、広報紙の仕上げ原稿の作成
岡山市社会福祉協議会中区事務所	福祉サービス総合補償保険への加入 令和4年度岡山市支え合い活動事例集への掲載、研修会開催の相談
岡山市高島公民館	公民館だよりへの記事掲載（7月1日号）

地域包括支援センター高島分室	広報紙の配布 問題のあるケースの相談
----------------	-----------------------

⑧ 事業実施状況

年月日	内 容
4月1日 ～3月31日	旭竜助け合い隊サポート事業の実施
9月22日	旭竜学区支え合い推進協議会の開催
11月9日	旭竜学区地域づくり会議に出席し活動報告
11月15日	広報紙「旭竜助け合い隊ニュースNo.3」を発行、学区内全戸配布
11月25日	旭竜助け合い隊会議の開催、合わせて研修会を実施
12月11日	令和5年度岡山市中区福社区地域ケア連携会議及び支え合い推進会議に出席し活動報告
12月16日	御津公民館で開催された「令和5年度岡山市生活・介護支援センター養成講座フォローアップ講座」に出席し活動報告
令和6年 1月12日	旭竜学区支え合い推進協議会の開催
1月30日	3学区支え合い活動交流会へ出席し活動報告（平井健康福祉委員会、富山助け合い隊、旭竜助け合い隊）
3月30日	広報紙「笑顔つながる通信No.4」を発行、学区内全戸配布

⑨ 事業実施メンバー

No.	申込団体 での役職	氏 名	年齢 (歳代)	備 考 (加入団体等)
1	会長			学区民生委員・児童員委員協議会
2	副会長			学区連合町内会
3	〃			八幡町内会長
4	委 員			中島町内会
5	〃			高島一丁目町内会
6	〃			高島二丁目西町内会
7	〃			高島二丁目東町内会
8	〃			八幡東町町内会
9	〃			高島公務員住宅自治会
10	〃			学区愛育委員会
11	〃			学区老人クラブ連合会

12	〃		ふれあい広場なかしま
13	〃		いきいき広場八幡
14	〃		学区体育協会
15	〃		岡山市消防団宇野分団
16	〃		岡山市社会福祉協議会中区事務所
17	〃		〃
18	〃		岡山市中区地域包括センター高島分室
19	〃		岡山市中区保健センター
20	〃		岡山市高島公民館
21	〃		岡山市ふれあい介護予防センター
22	〃		(社福) 昭友会

⑩令和5年度事業収支決算書

収入

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
岡山市補助金	69,000	58,000	区づくり推進事業助成金
実施団体負担金	63,000	58,044	
協賛金			
寄附金、他収入			
収入合計	132,000	116,044	

支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	30,000	34,210	事務用品費(30,062円)、ナイロンひも(1,848円)
②食糧費		4,180	会議用お茶(4,180円)
③印刷製本費	35,000	16,975	広報紙(14,565円)、会議資料コピー(2,410円)
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	43,000	40,595	電話代(39,415)、切手代(1,180円)
⑦広告料			
⑧手数料	2,000	660	振込手数料(660円)
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費		1,424	(プラスチックボード)
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	16,000	18,000	ボランティア保険料(18,000円)
⑮旅費			
小計(①)	126,000	116,044	
⑯新型コロナウイルス感染症防止対策経費	6,000	0	
小計(②)	6,000	0	
支出合計(①+②)	132,000	116,044	

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。